作画 零覇 Reiha
原作 kt60
チートスキル『支配』を使って異世界ハーレム！
3
RK COMICS
comic RaKUU
ぶんか社

RawLazy.Com
作画 零覇
原作 kt60
チートスキル『支配』を使って異世界ハーレム！
3
DL-Raw.Se

CONTENTS

REIHA / kt60 PRESENTS
PUBLISHED BY BUNKASHA

チートスキル
『支配』を使って
異世界
ハーレム！
3

チートスキル
『支配』を使って
異世界
ハーレム！
3

【第16話】

ん!

!

へ…ヘッドシザーズホイップだぁーーー!!

ぐきぃ!!

ぐるんっ

ドッ

うーむ…まさか倒した魔物が手懐けられるとはのぅ
くま♪
くま♪

この力の実にそんな効果はないはずじゃろ？
ないな力が増すだけだ
なら魔物を仲間にできるのはミティの能力か

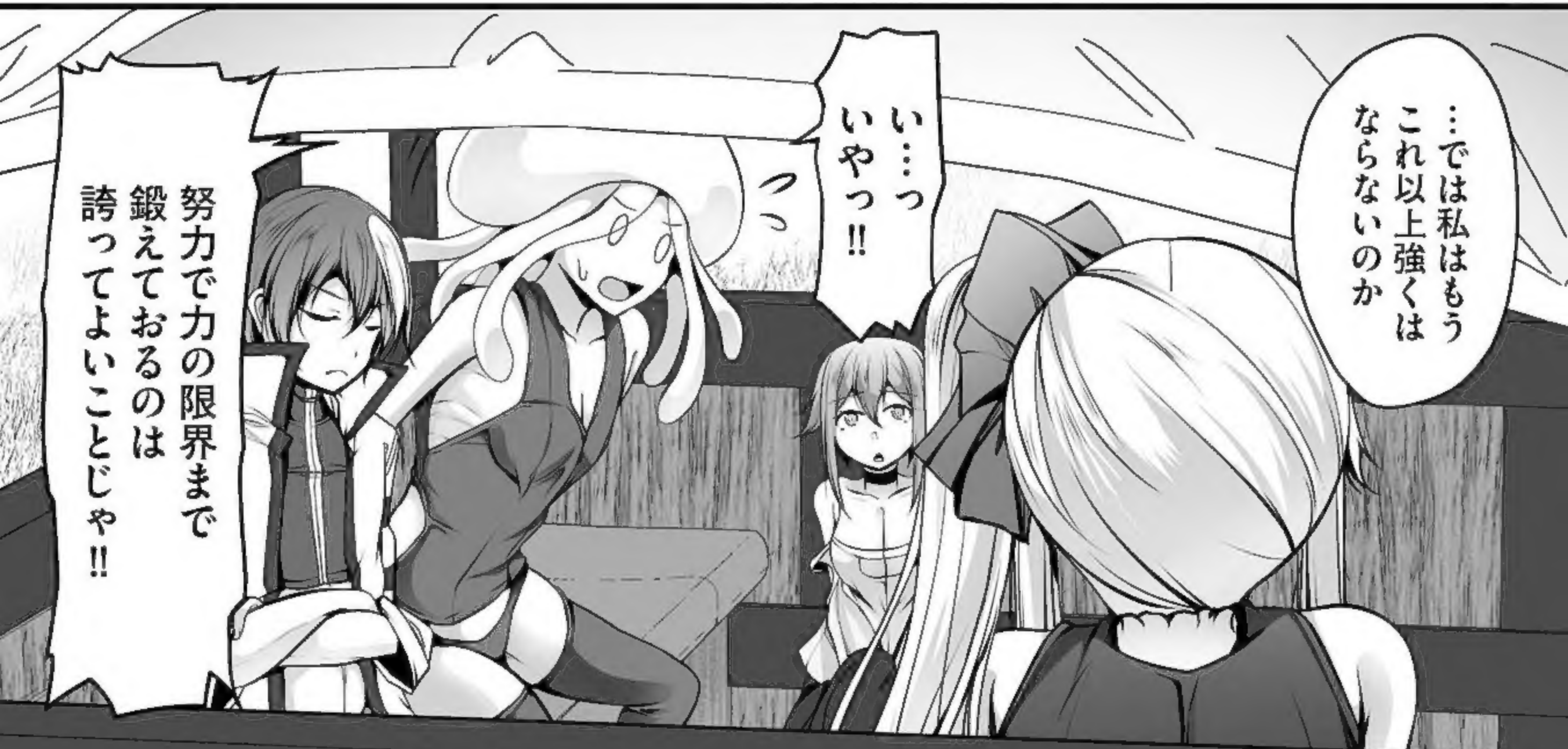
実の効果を改めて確かめるつもりで戦ってもらったんだが
思わぬ副産物だな
んっ……！

コイツに馬車を引かせれば砂漠の街まで楽に移動できるし
これからはミティも貴重な戦力だな

…では私はもうこれ以上強くはならないのか

い…っいやっ!!

努力で力の限界まで鍛えておるのは誇ってよいことじゃ!!

それができれば限界を超えて新たな力を身に着けられる！意図してできることではないのじゃが…
例えば…
愛する者の死——
身内の死
そういった強い悲しみや怒りが覚醒へ導くのじゃ！
…どれも経験したくないものばかりじゃないか
でもコイツはイシュタルとヤりたいってだけで覚醒してなかったたか？
ひょこーっ
それはヌシ様が常軌を逸したスケベ…だったというだけじゃな
ぷいっ

な…なら私ももっと
えっちになれば…!!
脱げばいいか!?
脱ぐか!?
そんなヌシ様じゃ
あるまいしのぅ
それは…
いや…可能性が少しでも
あるのならやるべきだ
あにさま…?
食えラティ
性欲の実だ
それは…?
あ…あぁ
わかった

た…食べたが
なぜ…っ
はー…
はー…
ふるっ
縛る必要が
あるんだ…？
ふるっ
キュンッ♡
キュンッ♡
ふるっ♡
ふるっ♡
性欲も限界を超えれば
「覚醒」につながるかも
しれない
縛られるラティが
見たかったわけ
じゃないぞ
ビッ
オナニーも…っ
我慢…です！
あねさまっ！
やる前からなんじゃが
わらわ無理じゃと思う
ボクも
DL-Raw.Se

じゅわっ♡
びくっ♡
んんくぅっうっ♡
びくっ♡
ん♡
びくっ
びくっ♡
ムワッッ♡
す…すさまじい雌の匂いが
充満しておるのぅ…
わらわが襲ってしまいそうじゃ
がんばって…！
あねさまっ
あ…あぁ…っ
ドキ
ドキ

あっあにさまの方が…耐えられないかんじに…っ!?

っ……

むぅ…

我慢せんか!! ヤったら意味ないじゃろが!!

匂いにあてられて興奮するでないっ!!

イク…っ♡

あにさまの…かっこいいセリフだけで…っ

落ち着くのじゃ!! 別に格好よくはない状況じゃろ!?

く…っ

ラティがチョロすぎてボク心配になるよ…

で——

結局こうなるのか

あっ♡

あっ あっ♡

あんっ♡

あっ♡

ヌシ様が耐えられるわけなかったのぅ…

ぬぷっ♡

ぬぷ♡

その夜――
ヌシ様の能力は便利じゃのう あっという間に小屋が建つのじゃからな

道中は野宿じゃと思っておったわ 砂漠まではけっこうあるしの…
私と初めて会ったときは城を作ってくれたぞ 素材さえあればなんでも作れるそうだ
いっぱいだしたのぅ

お風呂空いたよ 次どうぞー
うむ いただこうかの

ミティは…まだしてるのか
新しい布団も作っておいてほしいのじゃ
ズプッ
ズプッ
ぱんっ
いいっ んっ あんっ
びくんっ

しかし…私は結局
強くなれなかったな…
…あの方法で
強くなるのが
おかしいと思うよ
いーいゆ
じゃーな♪
私は皆のように
特別な能力がない…
ミティにも
置ていかれて
しまった…
ラティ…
大丈夫だって！
ラティはラティにしかない
長所があるはずだよ
それを伸ばして
いけばいいんだ
私の長所…か

――ところで組手って
何をするものなの？
ボク知らないんだけど

簡単だ 私と
戦ってくれればいい

…いい？見ててよラティ
コンコン
む？

ドゴッ

…ね？戦うってなったらボク手加減なんてできないよ
ドラゴンってそういう生物なんだ
ラティを殺してしまう…そんなのボクはいやだ
…！それでも…私はっ！経験を積まねばならないんだ‼

ほー…面白そうなことをやっているなぁドラゴン様は
ガッ
え⁉おまえ…っいつの間に⁉

「支配」して命ずる――
ポゥ…
ふ…え…

よし…これで
ラティより「だいぶ上」って
くらいまで力が落ちたぞ
ポンッ
な…なんだ
ラティをいじめてたと
勘違いされたかと思った
ミティは？
あぁジェリーと
一緒に寝ちまったよ

戦闘経験を積むのは
いい考えだと思う
怪我したって
治してやるから
存分に戦え

よし…ならば
全力できてくれ!!
…わかった
じゃ…いくよ!!

勝負っ!!

速い――!!
っ…!
そしてっ――
重い…っ!!
――弱体化してなお
これほどの差があるのか――!?
は――は――…

おっと
ひょいっ
ほいっ
ていっ…

圧倒的な強者に――!

勝つ術を!!

自分の速さと力を信じているからこそ大きくまっすぐに来る――！

それが隙だ…！
ならばやることはひとつ!!

──飛んだ!!
蹴りか!?
拳か!?
ダッ!
拳!!
グッ
合わせろ…っ!!
IL-Raw.Se

っほ……‼
ぐっ……
カウンターか…
やったなラティ
直線的な攻撃には
有効な手段…
相手の高い攻撃力も
利用できるいい戦法だ
ふむ
DL-Raw.Se

本物の剣なら弱くなってなくてもボクやられてたかもね

あぁ…ありがとう…ありがとう……!

ギュッ

アハハ…痛いよラティっ

ラティもミティも力をつけることができた…

行くぞ…! 四魔族の待つ砂漠へ!

ヨシャ!

ここが…砂漠の街――

【第17話】

けっこう
活気のある街なんだな
寂れた田舎かと思ってた
…人がいっぱい
そ…そうだな
おい見ろよ あの男
美女何人も
引き連れてるぞ
大商人か
貴族かねぇ？
…ジロジロ
見られるのは
好きじゃない
「人」に
いい思い出が
ないから…
私も…
知らない人…
怖い…です

…全員分
買えってか?

まずかったらお代は
いらないよ!
でもぉ? うまかったらぁ!?

ピキ

話が早いねぇ!
さっ おひとつどうぞ!!

このまま食うのか？

何もつけずに食うのが通な食い方だよっ！ささっチュルっといきな！

見た目は牡蠣に似ているが――

ちゅるっ

！

――これは!!

し…しもふりだ!!
身に脂が乗っている!?

一般的に貝類は内臓に脂を蓄えるモノ――
それも微々たる量…

ぷるるんっ

なのにコイツは身肉に多量の脂が!!
貝の歯ごたえから染み出るアミノ酸とコハク酸！
そして脂の融合液が喉と舌を震わせる!!

うまい――!!

仕方ないな…
20個ほどもらおうか

んぐ んぐ

うまいだろう!?
まいどありぃ!!

わっ

おいしそう！

ぬ…ヌシ様～～
貝などいらん～～……

ど…どうしたジュリー?
大丈夫?
ふら
あ…あついのじゃ〜〜〜…… わらわは…海の生き物… かわく…ひからびる… 水か塩水…おくれ〜〜〜……
そ…そうか 気がつかなくて 悪かった

そういえば…お肌が…ぴりぴりします
何か対策をしないとマズイか
俺たちだって時間の問題かもしれない
スキルで日を防ぐのにもそれで手一杯じゃ困るしな
…この辺りは太陽や乾燥から身を守るのに水の加護がある装備を使っているそうだ

ヨロッ

おぉ…
店内は涼しいのぅ…
まるで深海じゃ…

日差しがないだけで
だいぶ違うね

老人介護
みたいだな…

んじゃ全員
ここで着替えよう
好きな服を選んでくれ

…うわ!!
なんだこの値段!?

私たちの…村の…
20倍は…お高い…ですっ

水の加護…の分
上乗せ…みたい
ですっ

人間め…
足元見てるな!

あぁ金なら
心配するな

こんなこともあろうかと
十分に用意してある
店ごと買えるぞ

!

ひも？
金の心配のないお買い物タイム
女の買い物は
長いって聞くけど
本気で長いな…
もう1時間半だ
外で飯でも
食ってくるかな…
…ん？
くあ…

ラティ…そういえば
店に来てから
ずっとボーっとしているな
どうした
服選ばないのか？
私は訓練で
すぐにボロボロに
してしまうからな
他の安い店で
いい
それに…
それに？
この店の服は…その…
女の子っぽい…からな
…？
ラティも女の子だろ
何言ってるんだ
っ！
そ…それはそうだが
その…何を買って
いいか…
皆に聞くのも
恥ずかしいし
なら俺が一緒に
選んでやるよ

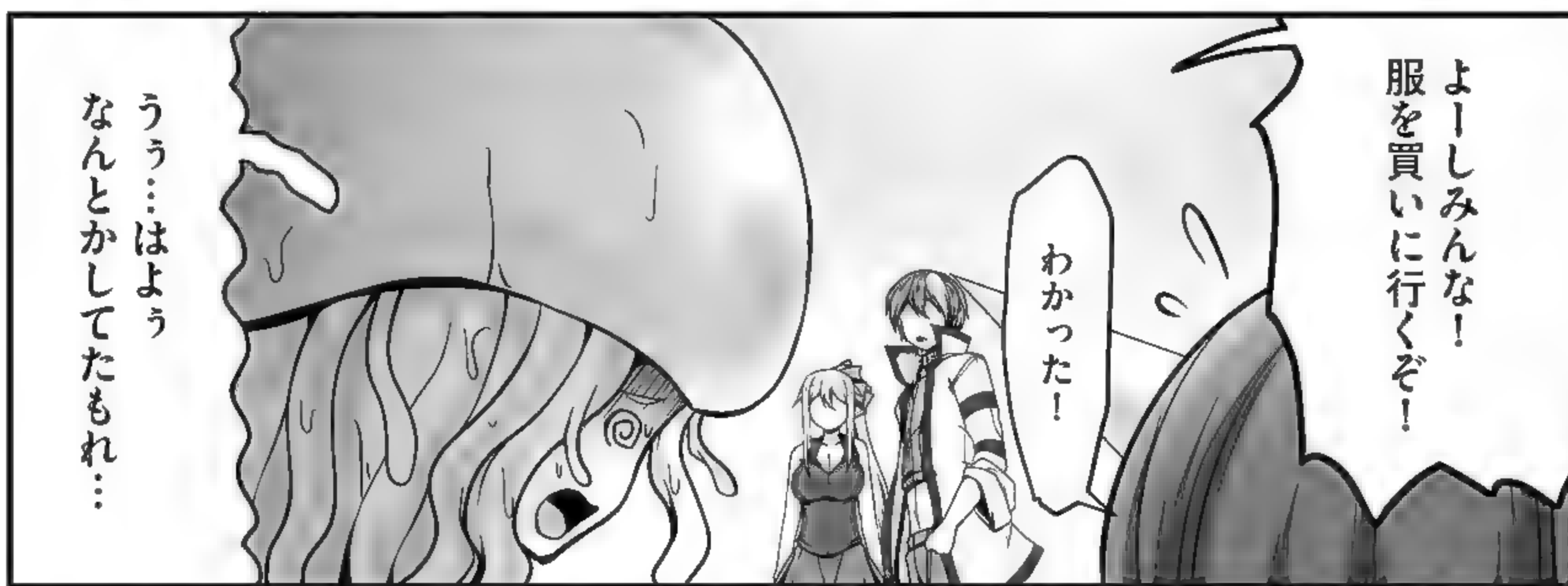
ラティ これ着てみろ

ん?

な…それは…! そんなの似合わないぞ!

脚も胸も動きやすそうだろ いいから着てみろって

う… わ…わかった

ど…
どうだろうか
ぅーむ…
や…やっぱり
似合わないいな?
よし下脱いで
尻をこっちに向けろ
ラティ
ふえ!?
DL-Raw.Se

ま…待ってくれっ
さすがにここでは…
周りにバレるぞ…っ

キミにならどこを見られても構わないが…
他のやつはイヤなんだ…っ

やっ…だめ…っ
いれちゃ…♡
あっ
せ…せめて
カーテンをっ
もう止まらん
無理
あっ
ギッ♡ ギッ
む…
メスの匂い…？
どうしたの？
ジュリーちゃん
何やってんだ…？
丸見えじゃないか
アイツはともかく
ラティは恥ずかしいよ
アレ
じゃのう…
仕方ないやつらじゃの
わらわが隠してやろう

すごい！

迷彩シャボンじゃ！
これで周りからは
見えないじゃろ

そこの観葉植物の
水分で作って
やったわ

鏡みたいになった！

ん？ミティ
何しとる

わー…！

とぷっ

とぷんっ

うんっ…♡イク…っ♡
キミもイって…♡
なかで…♡

んん〜〜♡

うーむ…ミティの
メスの匂いも合わさって
たまらんの〜〜……

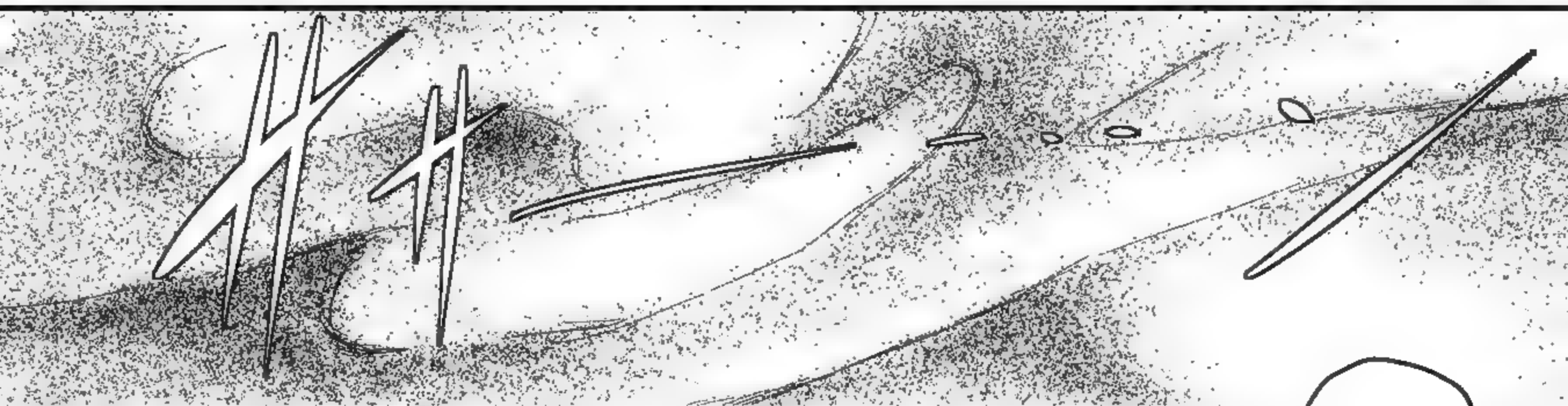
ふり
ふり

襲いたい尻
じゃな？

…ボクはそれ
ちょっと
わからないな

――まったく！
ジェリーが
隠してくれたから
いいものの…
すごく恥ずかしかったぞ!!
ぐに
ぐに
ふまん
ふまん…
でも…
すごくかわいかったぞ
ラティ
世界一かわいい
え…!?
そ…そう…か？
それなら…その
いいかな…♡
キミに
そう思われるのは
うれしい…♡
うわー…
ラティのチョロさが
加速してるぞ
惚れた弱みにしても
ひどすぎるのぅ
あねさまが…
幸せそうで…
なにより…ですっ
そういや
おまえたちも
着替えたんだな
はい…ですっ
ふふんっ
どうじゃ！
かわいかろう！
ど…どうだ？

…いいね
へそ出しは文化であり
ロマンを感じる服装だ
グッ
何を言っているんだ
おまえは…
わらわは
出しておらぬぞ！
おまえはまた
水着なんだなぁ
別にええじゃろ！
こういうのが
落ち着くのじゃ！

よし着替えたことだし先に進むぞ目的地は世界樹だからな
街の北から向かえるようだが…しかし…
馬車は砂で…動かないから…頑張って歩こう…ですっ
その前にヌシ様ジュースでいいから何か飲まぬか歩きながらでよいぞ
…似合うとかかわいいとかボクらにも言えよな…
アレが…世界樹かかなり遠いな
20kmは先だなそれでも上の方が見えるだけだ
下からじゃ何も見えなかったしな
しかしなんの音だ？サザーン…って潮騒みたいな音だな

…なぜ砂漠に貝がおるのじゃ!?

ヒトデも…いました…っ

誰かが海の土産を捨てたのか?

いや生きておるここに住んでおる生物のようじゃな…

世界樹周辺の地形は「世界樹の奇跡」と呼ばれる特殊な砂で形成されているんだ

コレは砂と水を合わせたような性質がある

この辺りは普通の砂だが…こっちに来て見てくれ

奇跡ゾーン

約20km

砂浜

街

ほら…砂が雫のようになるだろう?水を含んだ砂じゃない砂自体が液体だ世界樹は海に浮かぶ島にあると言ってもいいだろうな

ポタ…

つまり…歩いては行けないってことか
そのはずだ
海水浴ならぬ砂水浴という言葉すらあるらしい

わらわはともかくオヌシらは長距離を泳げぬじゃろ
…ボクがドラゴンの姿で運ぶのは？
いや空からは目立ちすぎるましてドラゴンじゃな
敵に警戒されても面倒だからな
そっか…
ではどうするのじゃ？わらわがひとりずつひっぱって泳ぐか？
う～ん…それもなぁ

あにさま…あれ…！
ん？

灯台…？それに船か!?
そうかここを航行する船の港があるんだな！
きっと…そうですっ行ってみる…ですっ！

しかし世界樹までの航路はあるのかの？聖域扱いされてはおらぬかのぅ

確かに…

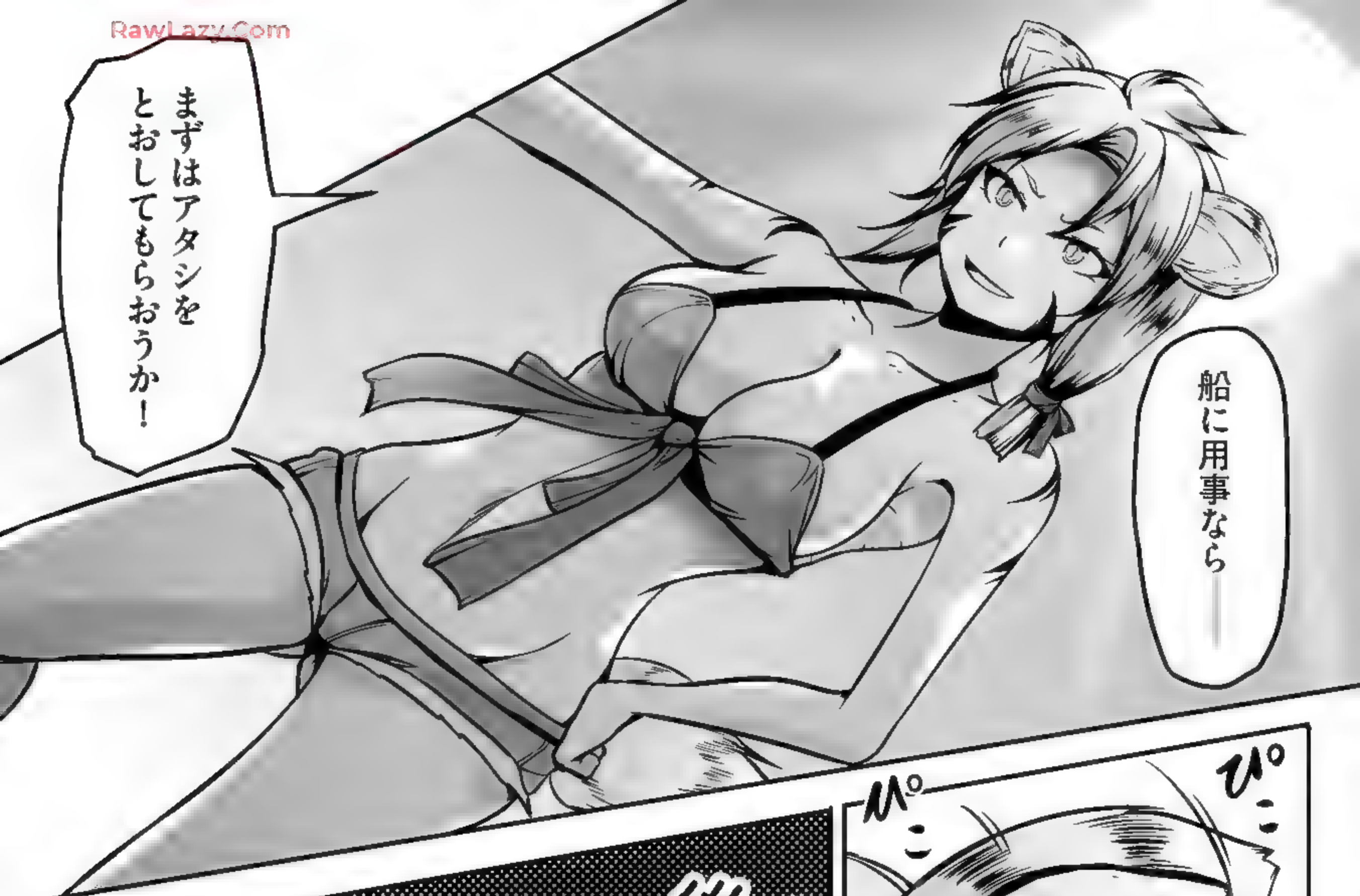
その時は金にモノを言わせて船を買おう

…下品な金持ちのセリフだぞソレ

ま…とりあえず港のやつに聞けばわかるだろう

行くぞ

ちょっと待ちな兄さん方…！

誰だ？アンタは
アタシはタイガ
ここの港を
仕切っている者さ

船に用事なら――
まずはアタシをとおしてもらおうか！
ぴこ
ぴこ
獣人か――
なら…
ふりっ
後背位(バック)――だな!!
ケモ耳は…初だ！
何考えてるかわかるな…まったく…

【第18話】

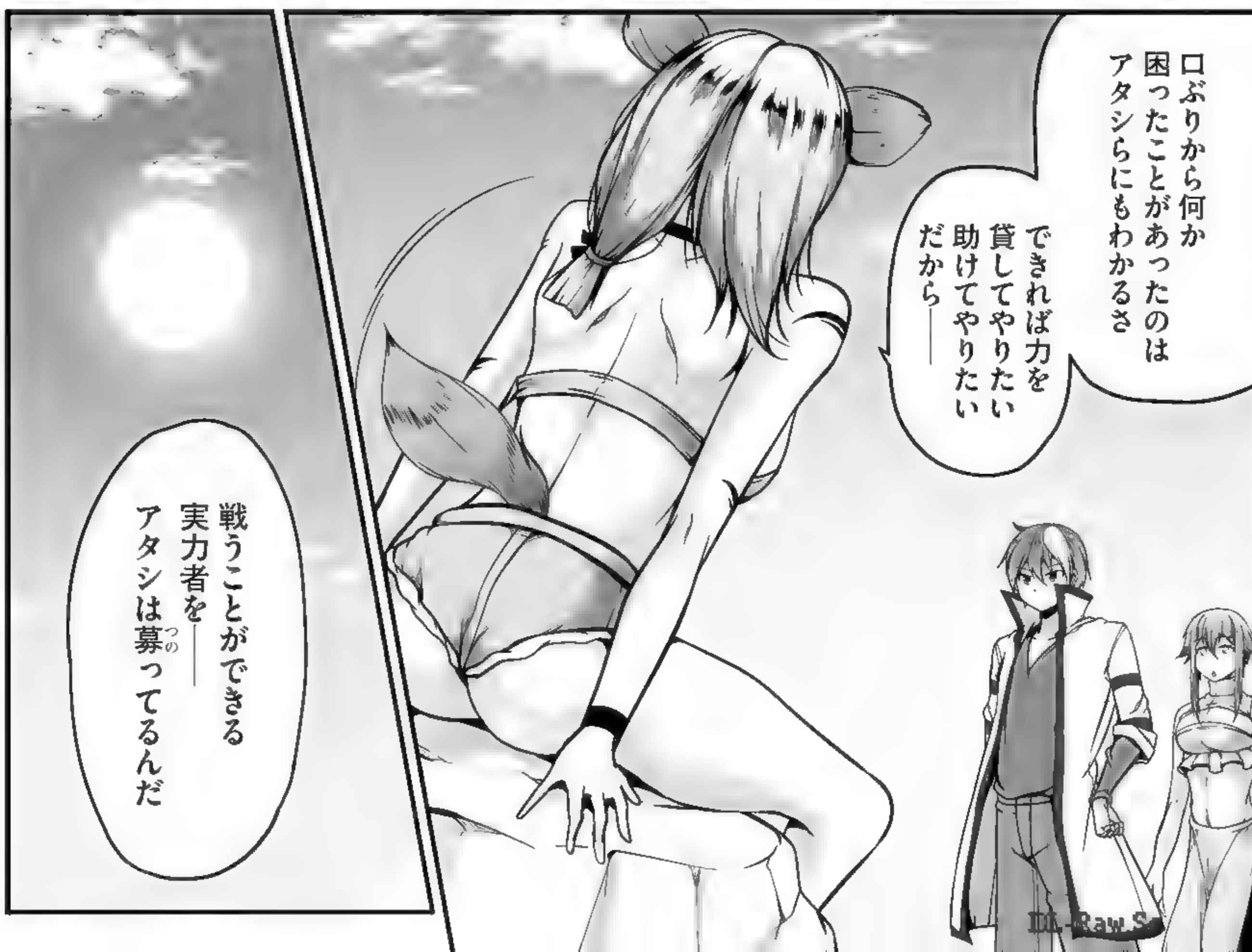
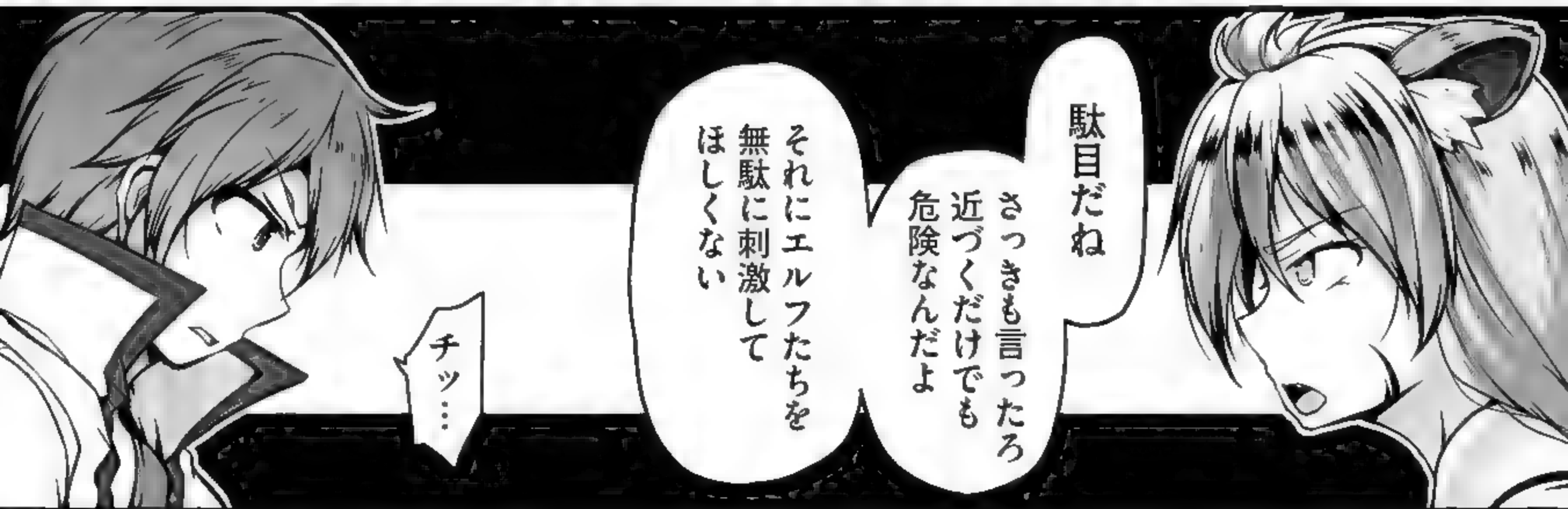
世界樹周辺の砂漠は
海のようになっていた
世界樹に行くために
船に乗る必要があったが――

悪いけど今は
船を出せない

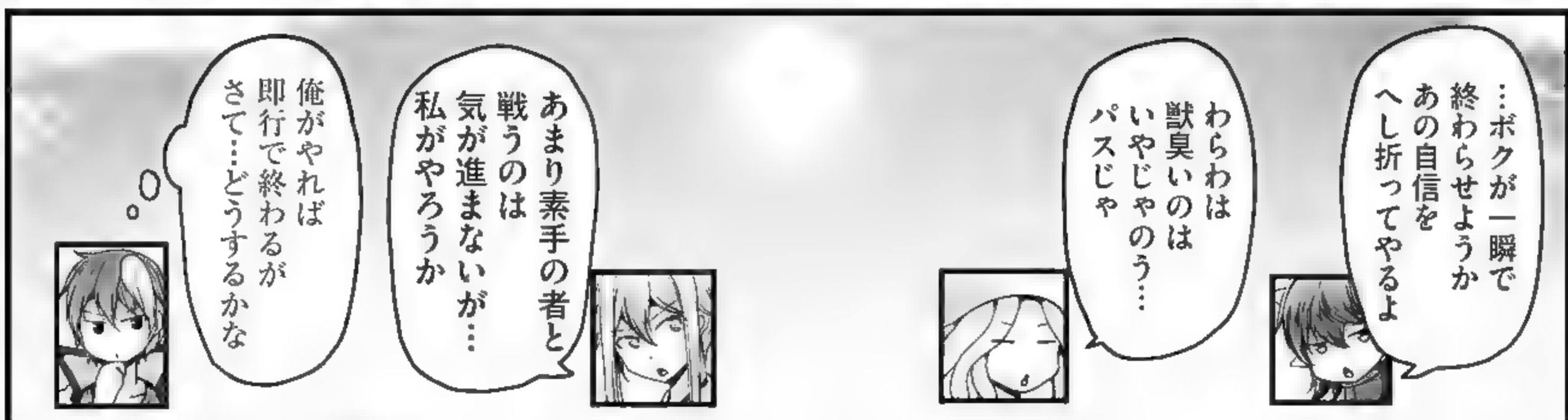
世界樹周辺のエルフが
攻撃を仕掛けてくるように
なってね…
あまりに危険なのさ

世界樹のエルフは
友好的だと聞いたが…

貿易や交易も
やっていたはずじゃ
なかったのか？

見なよ
あの船の底
でかい穴が
開いてんだろ
エルフたちに
やられたのさ
やつらは言ったよ
「この程度の強さで
ここに近づかないで
ください」ってね
口ぶりから何か
困ったことがあったのは
アタシらにもわかるさ
できれば力を
貸してやりたい
助けてやりたい
だから――
戦うことができる
実力者を――
アタシは募ってるんだ

…なるほど
事情はわかった
だけどおまえに船を
動かせと言ってる
わけじゃない
俺たちで勝手にやるから
船を売ってほしい
金なら
このとおり
十分にある
船員もこっちで
雇うからさ
駄目だね
さっきも言ったろ
近づくだけでも
危険なんだよ
それにエルフたちを
無駄に刺激して
ほしくない
チッ…
エルフの変化も
邪神の眷属絡み
だろうな…仕方ない
わかった
実力者なら
船を出しても
構わないんだろう?
その資格があるかどうかは
アンタが試験でも
なんでもすればいい

へぇ…
いい度胸だ
いいだろう
テストしてやる
ここは…
闘技場(コロシアム)——

武器は自由に使っていい
斧でも剣でも槍でも
好きに使いなよ
…この剣は
真剣だぞ
当然
試合なのに
危険すぎるぞ
当たらなければ
関係ないさ
んで――
誰が最初に
戦うんだい？
…ボクが一瞬で
終わらせようか
あの自信を
へし折ってやるよ
わらわは
獣臭いのは
いやじゃのう…
パスじゃ
あまり素手の者と
戦うのは
気が進まないが…
私がやろうか
俺がやれば
即行で終わるが
さて…どうするかな
はい…っ
ミティが…
戦います…っ！
やってやり…
ますっ
ミティか…
よし いいだろう
頑張ってこい
はい…ですっ！
ミティには
戦闘経験を
積ませたいしな

へぇ…
アンタも素手かい？
そこは気に入ったよ
んっ…！
さぁ！
勝負開始だ！
来な！　おっぱい少女ッ!!
DL-Raw.Se

ザッ
わ・・・
・・・？
簡単に掴めた？
コイツ
ド素人じゃ
ないか
なら――
引き倒して――！
寝てもらうよ
グッ
グッ

ん…？
ぐぐ…っ
チッ…
ガシッ
無駄なあがきを…
いっ
お…おいっ…！
マジかコイツっ!?
肩押さえて
マウント…っ
取ってんだぞっ！
グ…ググ…

ぐにゅ
そ、そこからあ〜〜ああ！？！
ズザザッ
なんだコイツの
バカみたいな
力は――！
ぬっ・・・・い・・・っ
DL-Raw.Se

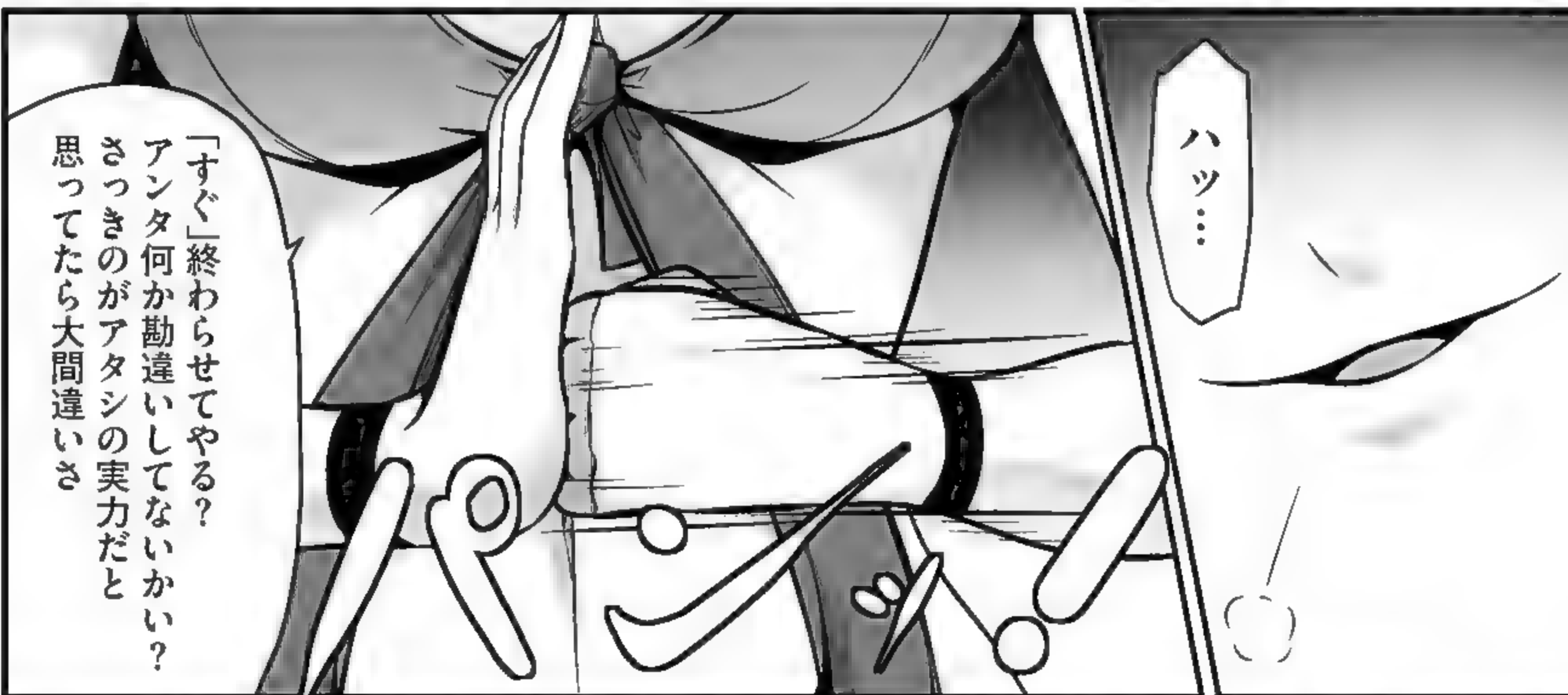
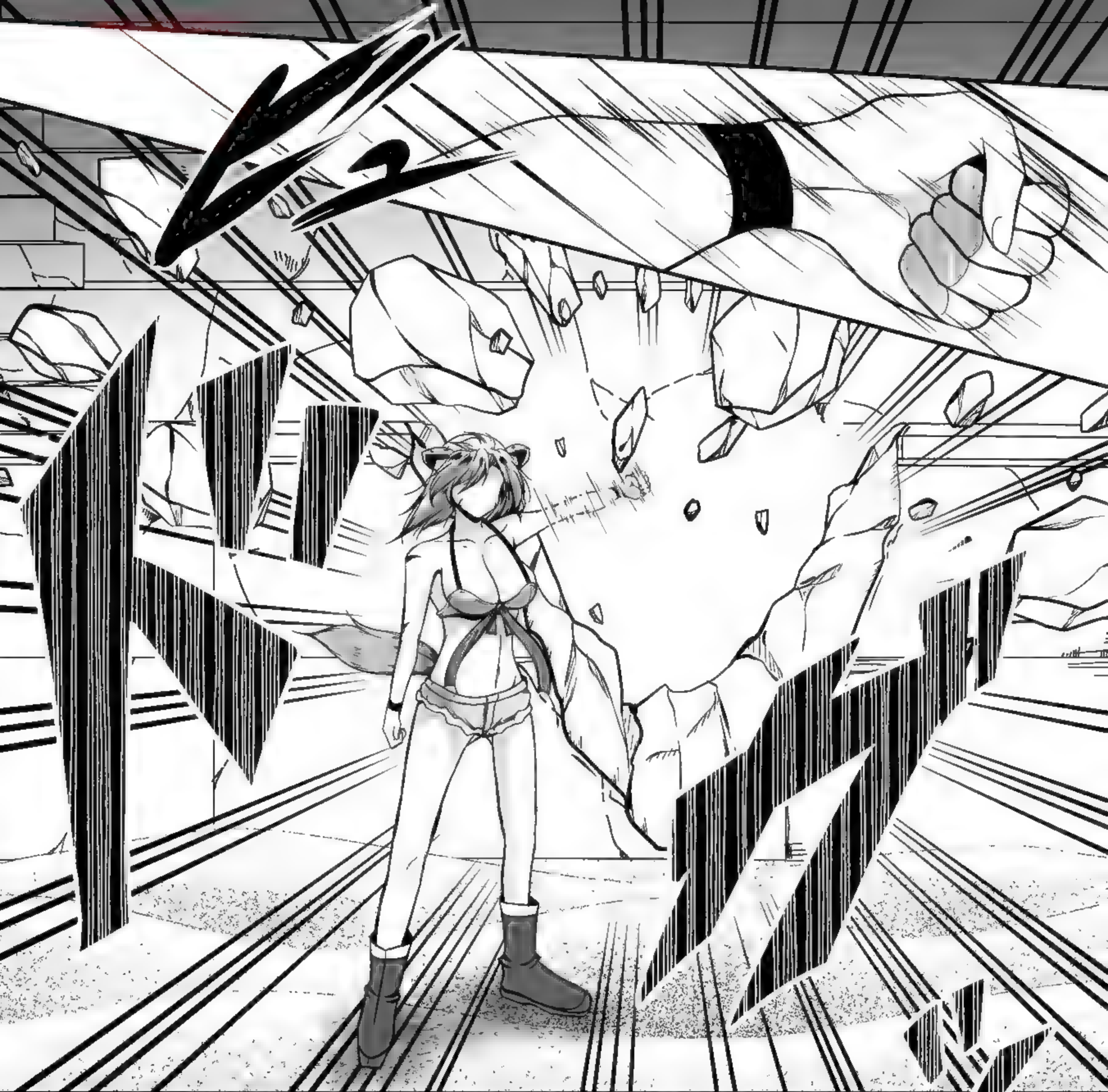
え…?
まさかそこから
瓦割りの要領で
頭殴る気か?
その馬鹿力で?
寸止めするよな?
…いやマジの目してるね?
頭蓋骨砕けるでしょ?
つまり
死
ぬわきゃ
んなめるなぁぁああ!!
んぎぎ…っ!!
っ…!!

ギ
ギ
ギ
ィィィ
ぃ
ギ
ギ
ギ
ィ…
これは逃げられんぞ！
ギブアップするかぁ!?
危ないぞコイツ！
してくれ…っ
ぎ…ぎぶ
あっぷ…です
よおし!!
うーん…
技負けしたか
ん…

負けて…
しまいました
ぽすっ
いや頑張ったぞ
よくやったミティ
大丈夫か？
はいっ

実力を試すんだから
負けても不合格じゃ
ないだろ？
どうなんだミティは
ま…
合格さ
力だけなら素のアタシより
圧倒的に上さ
今までエルフ救助のために
たくさん選抜したけど
技さえ磨けば
エース格を張れるね

はぁ…
人が集まるのを待ってられるほど時間はないんだよ
あん？
完勝すればいいんだな？俺がやってやるよすぐ終わらせてやる
するっ
ハッ…
「すぐ」終わらせてやる？アンタ何か勘違いしてないかい？さっきのがアタシの実力だと思ってたら大間違いさ
パシッ
ほぅ…と言うと？
アタシは女神イシュタルから「剛力無双」のスキルをもらっている
神様から与えられた力があるのさ
ゴッ
ゴッ

ドゴッ
こういうことさ
舐めた口は
きかない方がいいさね
DL-Raw.Se

…イシュタルにもらった力は自分の力だと言えるのか？
はぁ？
あいつに与えられた力は実力とは呼ばないいんじゃないかってことだ
…アンタイシュタル様を知ってんのかい？
…まぁな
なら話は早いねイシュタル様は誰にでも力を与えられるわけじゃない「魂の強さ」が必要だ
どんな能力も魂が伴わなければカスみたいな力で終わるつまりアタシのスキルは強き魂あってのこと…それはアタシの強さに他ならないさね
なるほどいい考え方だ
おん？
それなら俺も気兼ねなく使えるな
DL-Raw.Se

命ずる——
「動くな」
な…なに…？
身体が…うごか…⁉

「服を脱いで尻を向けろ」
な…なんで…っ
するっ
身体が勝手にっ…！
ぷるっ
あっ…アンタっまさかっ⁉
そうだないろいろとご想像のとおりだ
ぶるっ…
ふりっ
アンタもしかして…っイシュタル様に力をもらってる人間なの…っ⁉その力を…っこんなことに…ぃ⁉
や…やだぁ…っ
DL-Raw.Se

い…挿れちゃだめ…ぇ
獣人はつがいの人とだけ
交尾するんだからぁ…っ
ふる
俺は人間だから
関係ないな 挿れるぞ
ふる
ヌプ
ぬぷ…
ズブブ
ずにゅうう
あっ
あっ
は…挿入ってるぅ…♡
男の…交尾の…ぉ♡
い…いやなのに…
身体が…♡ 求めてるっ♡
自分より強い雄のっ♡
自分を屈服させられる雄のっ♡
強い遺伝子が欲しいって♡
子宮がお口あーんって
してるのぉ…っ♡

やら…ぁっ♡
なかにらしちゃ
らめぇ…っ♡
あかちゃ…できちゃうっ♡
やぅ…♡
らめっ…堕ちちゃう…♡
この人のメスになりゅうううっ♡
DL Raw.Se

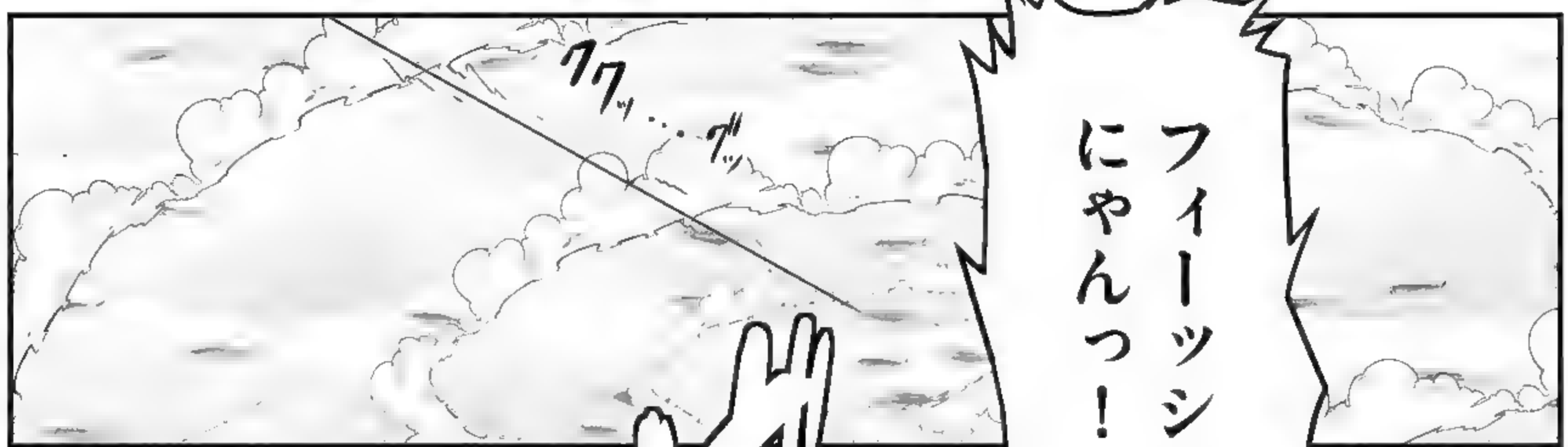
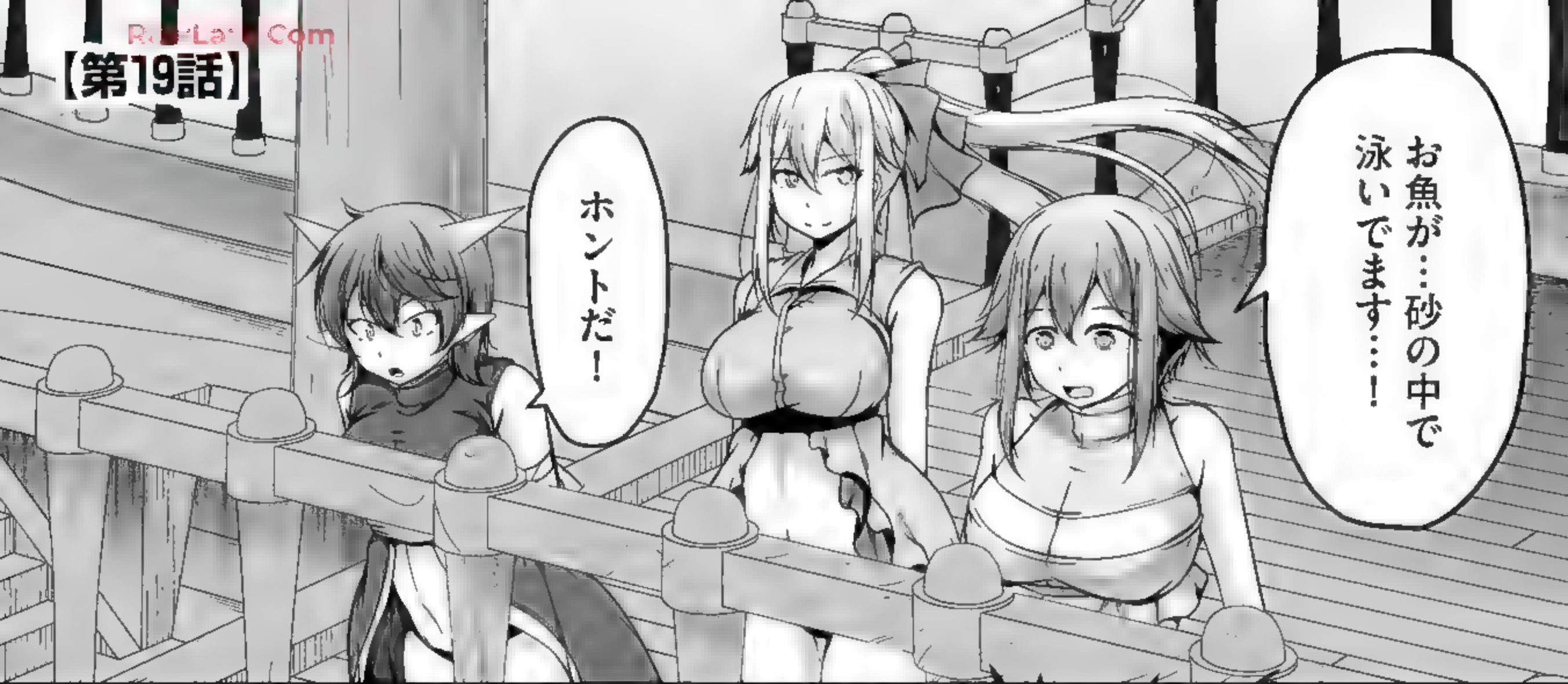
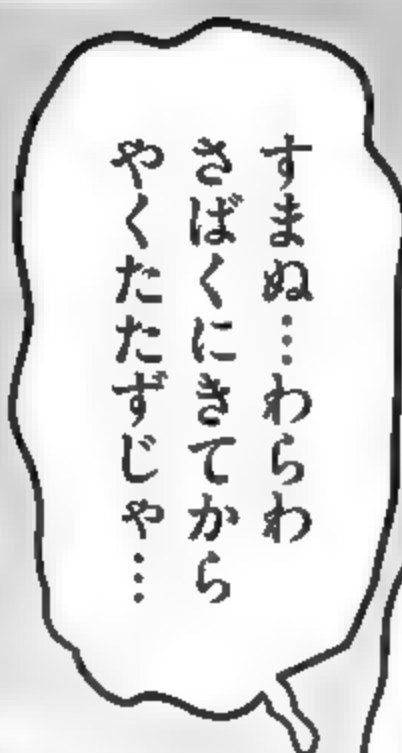
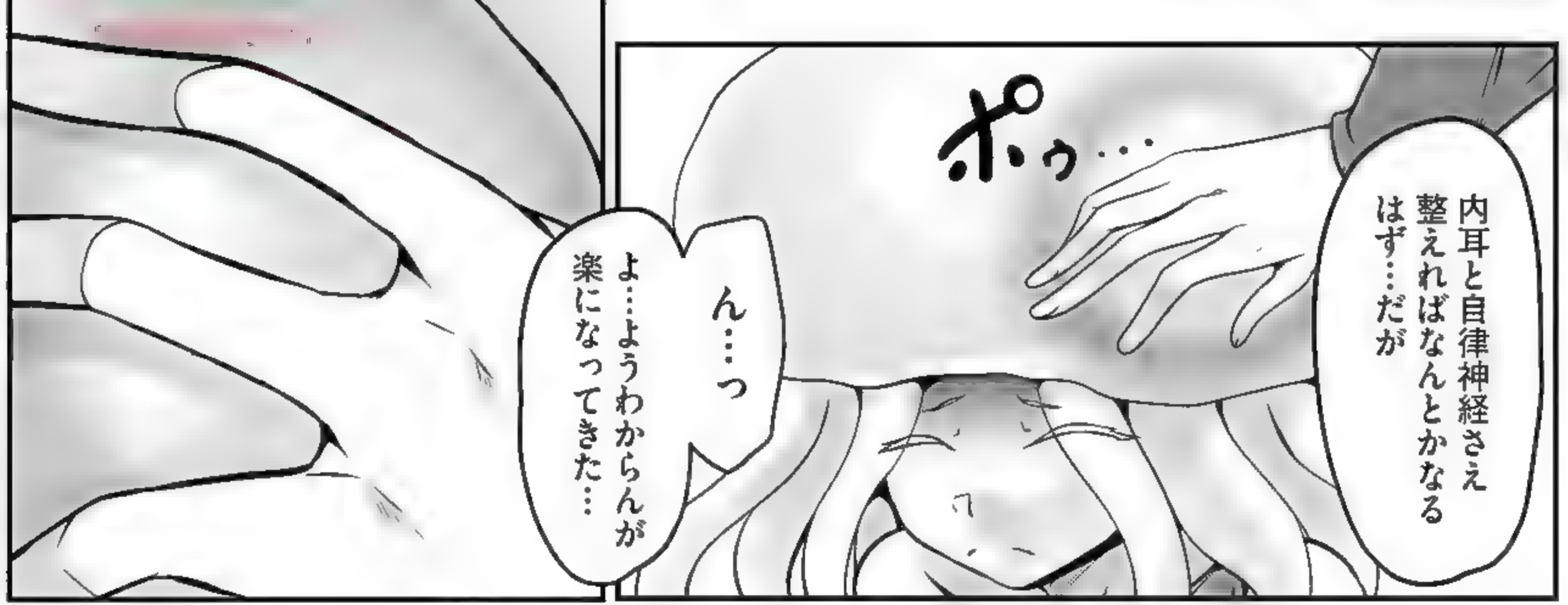
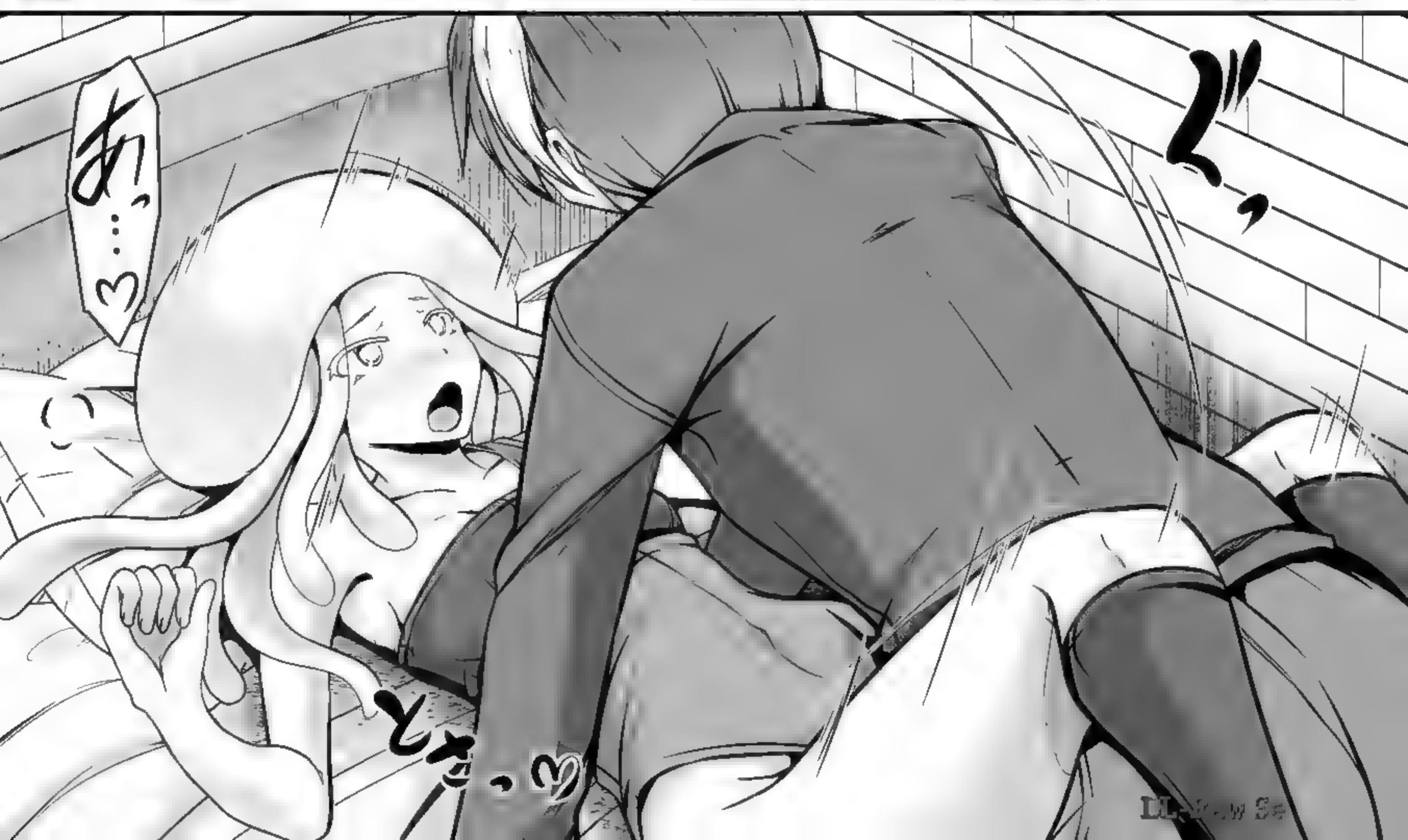
これで俺の「完勝」と言えるな？負けましたと言え
そして船を貸せ
ひ…ひゃい…♡あたしの…まけでしゅ…ぉぅ♡
はひ♡はひ♡
あなたの…メスにぃ♡なりましゅ…♡
ふねも…じゆうにぃどうぞぉ…♡
はー♡

錨を上げるニャー!!
ズゥゥゥ
ウゥ
帆を上げろー!!
出港ニャー!!
うぉぉ…かわいいな…!
猫さんが…船員さん…です
獣人の使いである猫人が船員なのじゃなぁ…
アタシの命令なら死も恐れない従順なやつらさ
…危険な船出になるからね

行くぞ
エルフの住まう
世界樹の元へ!!

【第19話】
お魚が…砂の中で泳いでます…！
ホントだ！
ククッ…グッ
フィーッシュ!!
にゃんっ！
ザパ
わ…見たことないお魚…です
淡水魚や海水魚とも違うな

世界樹の砂に適応した鉱石に似た鱗を持っているにゃ
油で揚げると鱗がサクサクに変わって頭からいけるにゃ
内臓は砂がいっぱいだから無理にゃけど…
へぇ…です
ニャー！
に〜
ぬ〜…
…ところでなぜこいつらは俺にまとわりついてくるんだ？
獣人は強い雄が好きだからね
アタシに勝った男なんて放ってはおかないさ

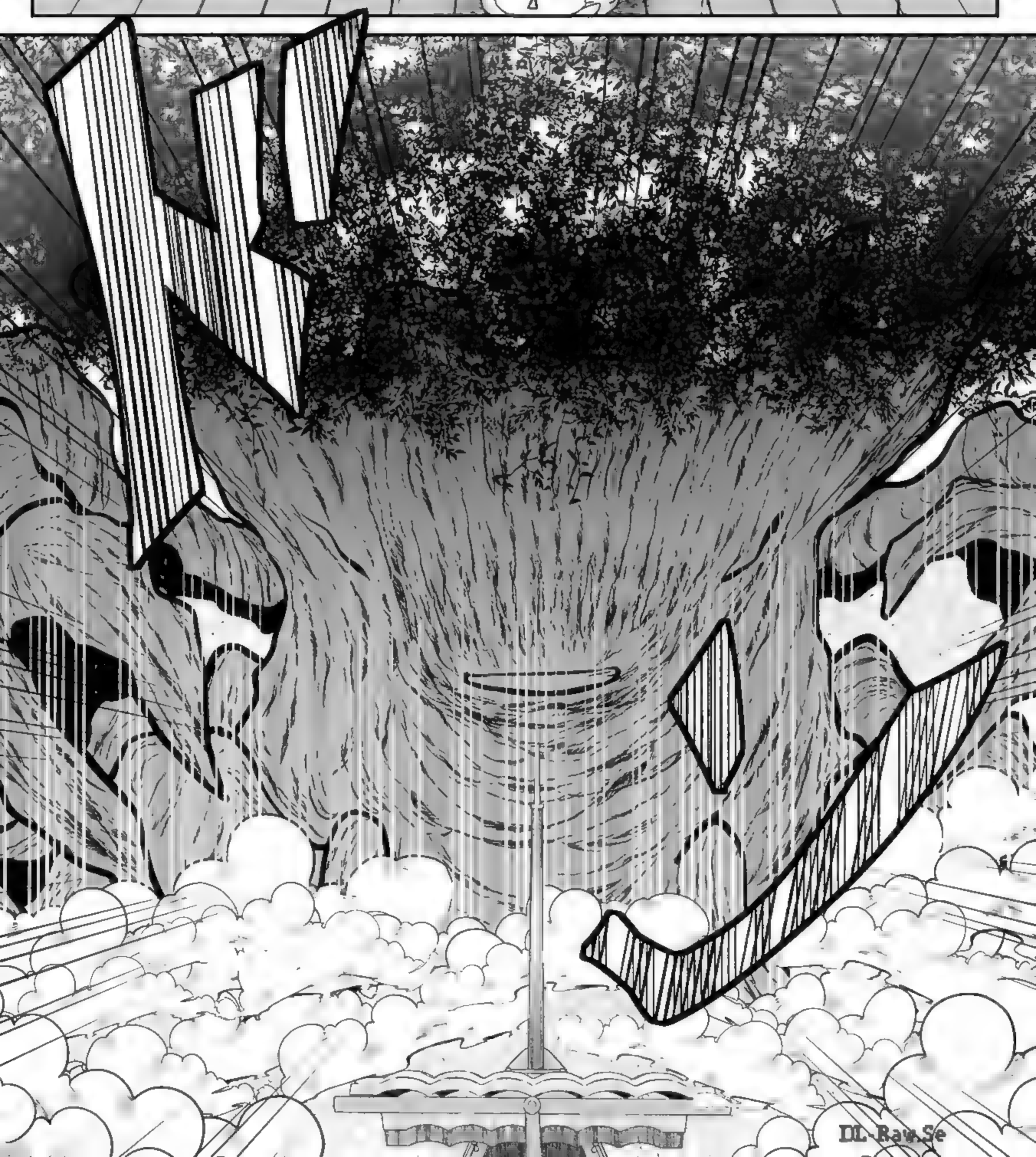
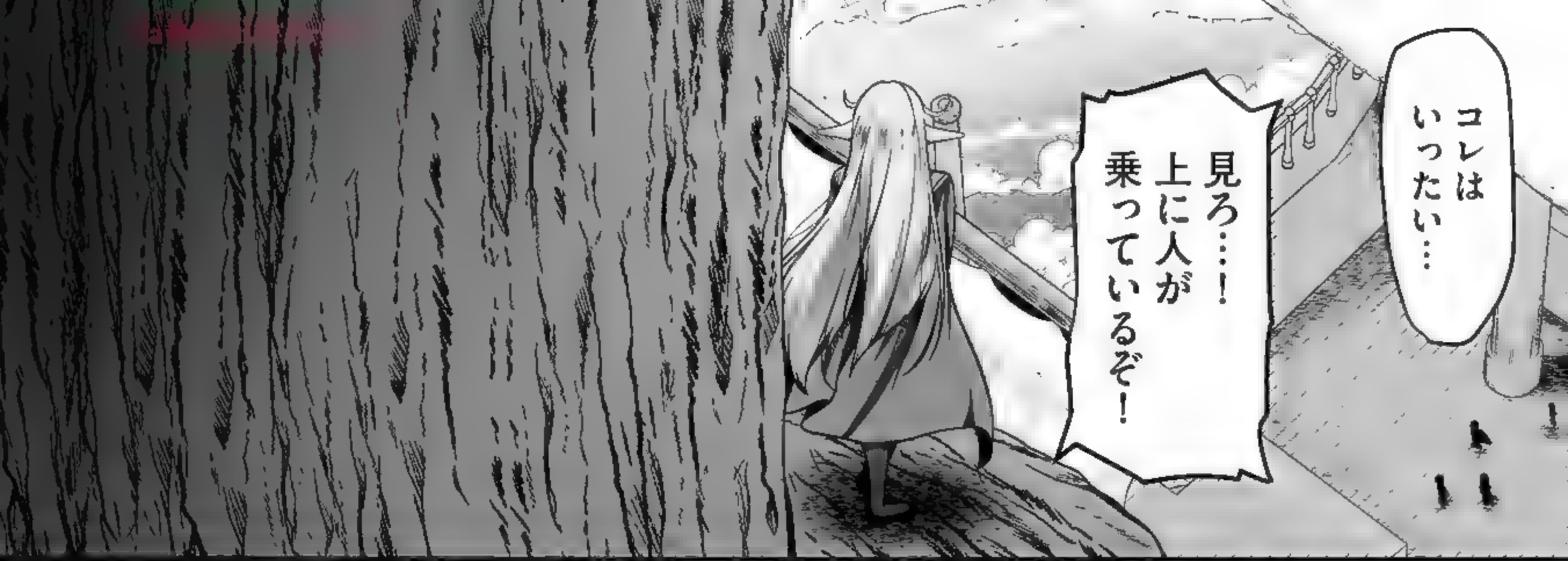
ど…どうしたジェリー？また暑さにやられたのか!?
ちがう…
き…きもちわるいのじゃ…船に…酔うた…
ズリ

もうカタコトになってるじゃないか…
治すにしても船室に行くぞ
すまぬ…わらわさばくにきてからやくたたずじゃ…
いいから掴まってろ階段から落ちるぞ
きぶんはとうにちのそこじゃ…
ぽすっ
さて…
治すと言ったはいいが外傷と違って乗り物酔いは内耳の混乱による不調…病気ではない
支配の能力でどうにかできるのか？…まぁ駄目で元々だ自分の能力の幅を知るいい機会でもある

ポゥ…
内耳と自律神経さえ整えればなんとかなるはず…だが
ん…っ
よ…ようわからんが楽になってきた…
お…おぉ…吐き気とめまいが収まったぞ！すごいのうヌシ様っ！
ぶっつけ本番だったがうまくいったか
不向きな土地や風土は誰にでもある今までいろいろと助けになってるんだ
気にせず今は休んでおけ
きゅん♡
ビッ
DL-Raw.Se

…そうじゃ
お言葉に甘えて
少し休むかの…
…ここは静かで
誰もおらんし
ふたりっきりじゃしの…？
もじっ♡
男と女が
ふたりきり…じゃ
なんだ
したいのか？
そっ…そんなこと
言うとらん！
やっぱなしじゃ！
はよう上へ戻れヌシ様っ！
ムードのない
ヌシ様など
嫌いじゃっ！
ど
あっ…♡
とさっ♡

ゃ…っ
無理矢理は
だめじゃ…っ
う〜〜〜やっぱり
ヌシ様は
ケダモノじゃっ
ならこの辺にして
俺は上へ戻るかな…
挿れなくていいよな？
ヌトッ
〜〜〜っ！
どうしてもっと
恋人っぽく
できんのじゃ〜……！
わらわだって
女の子なんじゃぞ…っ
優しくせい…！
…わかったよ
おまえも俺の女だからな
大事に思ってるぞジェリー
うん…っ♡
いれて…
ヌシ様…っ♡

ドプッ
ビュ～ッ♡
あ…でて…♡
びくんっ♡
びくっ♡
イク・・・・・♡
ん～～～ー♡♡

…っ！なんだ!?
これは…！
て…敵の気配じゃぞ！
グラ
グラッ
…ジェリーはそこで休んでろ

にゃ…！
にゃんだ!?
木にゃ！
でっかい木にゃ！
動いてるにゃ!!
DL-Raw.Se

コレはいったい…
見ろ…！上に人が乗っているぞ！

――エルフ！
こいつらが
例の世界樹のエルフか…
真ん中にいる小さいのが
リーダー格って
ところだろうな…
いやしかし
そんなことよりも…

…警告したはずですよ
世界樹に近づくような真似を
してはなりませんと…
忘れてはいませんよね
タイガ――？
ゆさっ
でかい！
乳が!!
ゆさ
胸が気になって
頭の整理が
追いつかないな…
え…エルフたちを助けるために
助っ人を連れてきたのさ!!
何があったか知らないけど
アタシらはアンタたちの
力になりたいのさ!!

その後ろの者たちが
力ある者だと言うのですか？
ならば…試させて
いただきましょう
ヤれ
はいっ！
アレは…!?
大砲ユリ!!
…テッポウユリの
仲間か？
馬鹿デカい種子を
花弁から射出するのさ!!
その名のとおり大砲並の
破壊力があるぞ!!
そのとおりです
持ち運べる大砲――
それがこの
大砲ユリなのです
かつて世界樹周辺のシマ争いで
我らの祖先が
カチコミに使ったと言われる
伝説と伝統の我らが主砲…!!

総員ッ!!
伏せろぉ――!!
撃て!!
挽肉にしろ!!
ふせー!!
ミティっ!!
ん…っ

なにィ!?
馬鹿な!! 素手で受け止めただと!?
うろたえるな!! 砂漠のエルフは動揺しないいっ!!
隣りにいる女を狙え!! 私はああいう背の高い女は気に入らないんだ!!
撃て!!
…私のことか

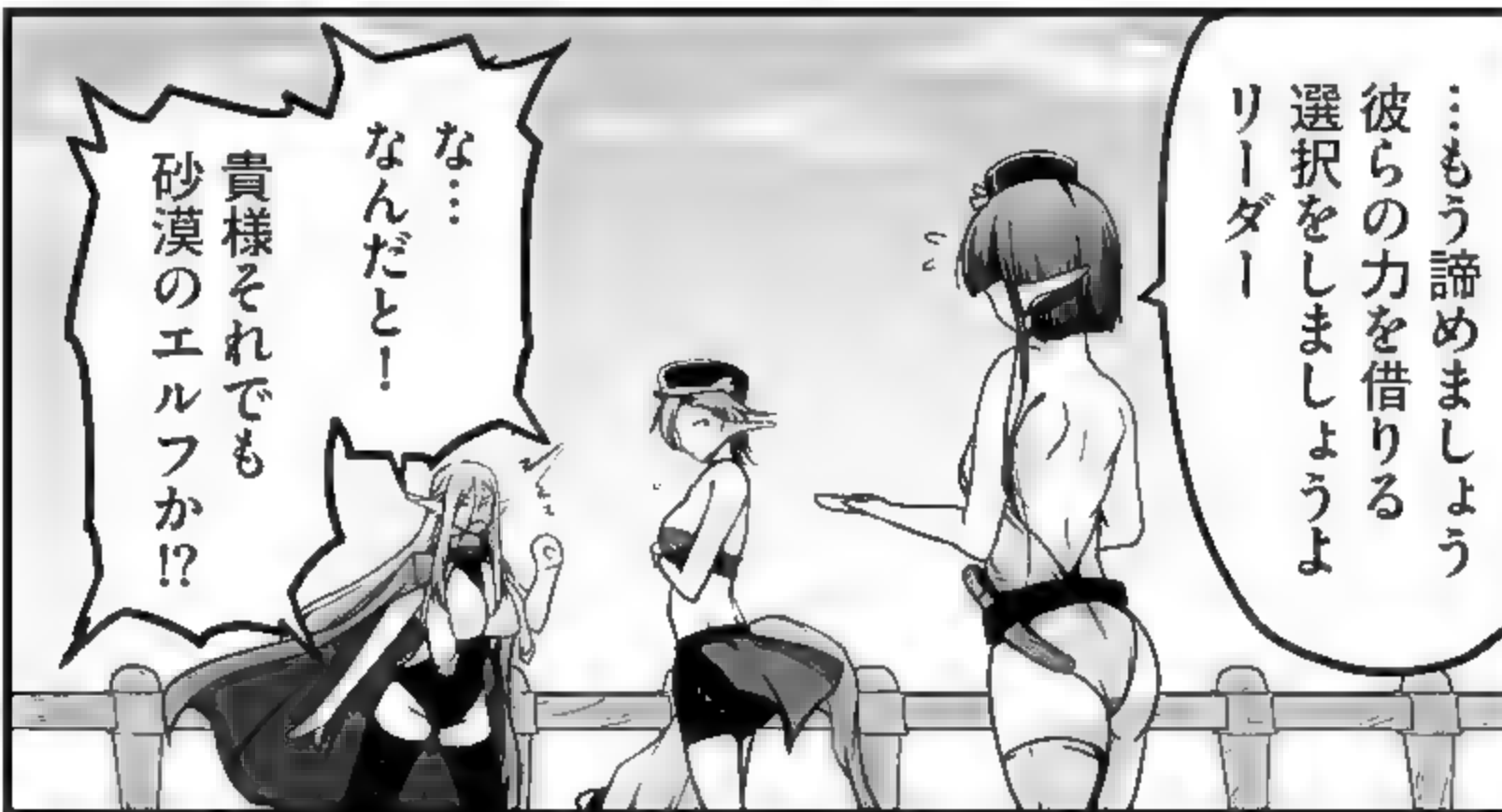
ぬぁ!?
…大砲ユリの弾は
鋼より硬いはずなのに!?
ヤツら化け物ですっ!
う…うろたえるなと
言っただろ!!
こういうときは頭を狙え!
あの男だ!
アイツが向こうの頭だ!
今度は俺か…

しかしまた止められたら…っ
心配するな！私が協力する！
そのまま構えていろッ!!
ま…まさかアレをやる気ではっ!?
締め撃ちだ!!
合わせた威力は3倍じゃない！10倍だぞ!!
花弁を狭窄させ初速をあげるッ!!
その破壊力は倍以上にッ!!
おまえの力と私の力！
そしてこの締め撃ちの力ッ!!
…その理論キライじゃないぜ

ペタ

だが無意味だ

…指1本で止められましたよ

…もう諦めましょう
彼らの力を借りる
選択をしましょうよ
リーダー
な…
なんだと！
貴様それでも
砂漠のエルフか!?

君らって力を試しに来たんだよね？
だったらさぁ

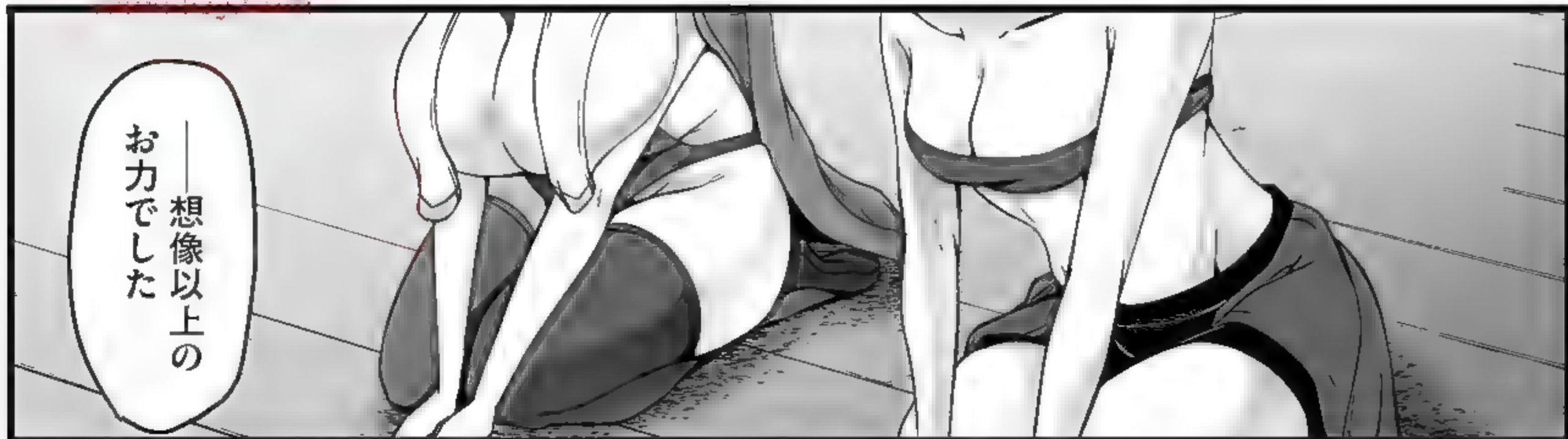
貴女程度では知らないことでしょうが…

ここのトレント―― 耐久力だけならSSクラスなのですよ

「デスペランドの災厄竜」―― 貴女はご存じでしょうか？ 倒すには3国の軍事力が必要とされている暴竜… そのレベルの力がなければ傷つけることすら不可能なのです

デスペランドってなんか聞いたことある気がするな
うちの近所の森の名前…ですっ
はい、
私と初めて会ったあの森だな
そこ近辺の竜――って
そう！迷いこんだ獅子がその辺の芋虫に狩られる！そのような恐怖のデスペランド森周辺を牛耳る災厄竜ッ‼最近は話を聞きませんが山の奥深く――大地を食い散らかしッ！人の生き血を飲みッ‼魂を呼吸としているっ‼その災厄竜ですよっ‼
ヤツのレベルでようやく倒せるこのトレントを⁉倒す⁉あまりの馬鹿馬鹿しさに耳がドリル回転してしまいますね‼
そ…そんなのがボクの住んでた山の近くにいるなんて知らなかった…っ
DL-Raw.Se

でもっ!!
ボクだってこんな木材くらいっ!!

燃えた——!?
その竜って
おまえだろ?とは
言えない3人だった

【第20話】

我ら世界樹のエルフを代表して

正式に協力を要請したいと思います
つきましては――

エルフもうひとりいなかったか？

くる

あの…

里に報告に戻ったってさ

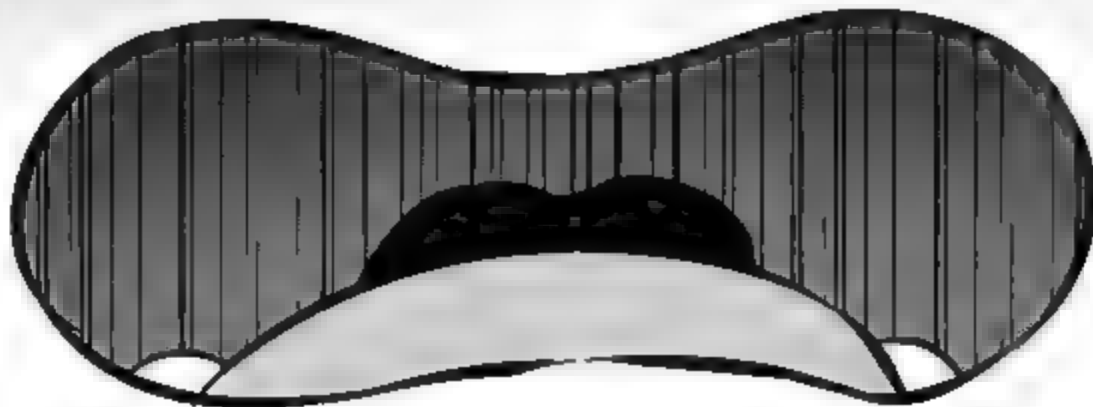
ま…まずはっ！

大砲ユリの砲撃を生身で受け止める力を持つ…
えっと…
ミティ…です
姉のラティだ
おぉ…鋼鉄以上の強度を誇る種砲弾を切り裂く技術を持つラティ殿と姉妹なのですね！
そして――
俺はいいからアイツを評価してやれよ
はい…！
耐久力だけならばSSランクのトレントを焼き払い灰と化した――ぜひお名前をお聞かせください!!

お見受けしたところ
ドラゴニュート…
さぞ名のあるドラゴン様の
ご息女でありましょう!

ご両親のお名前ともども
お教えください!

みんな――
ボクを殺そうとする人間たちばかりで「邪竜」…くらいにしか呼ばれてなかったなぁ…
うっ…
そうか…
ラティたちも初めはそうだったでも――
っ…！

すまなかった…
勘違いしていたとはいえ
本当にすまなかった…！
いいよ
だって今は…
友達になったもの
ミティも
お友達…ですっ
うん…
あとジェリーちゃんも
みんな友達…えへへへ
ぎゅ
むへっ
く…ーーっ！
どうしたの？
ラティ
名前！
つけよう！
今すぐにつけよう！
とびきりのやつを！
そうだな
命名会議するか
あの…私の里の
話がまだ…
明日聞いてやるから
待ってろ

第二倉庫
ではミティから――
私の…考えた名前はコレですっ！
かわいい…と思いますっ
かきっ
悪くないな
ええ…
ふむ…良候補じゃの
イシュタルいるか？
いるなら出てこい
少し聞きたいことがあるんだが
……

ひょこっ

はい
なんでしょうか?

ミティの書いている
文字が読めない
今までも何度かあったが
読める文字と
読めない文字がある

俺の識字能力は
おまえが与えた
力のひとつだろ?

はい
そのとおりです

こちらに呼ぶ際に
言葉と文字が
理解できるように
しています

この世界では言葉は
ほぼ世界共通なのですが
文字は地域差が大きく
数も多いので
全てというわけには…

あれは…
イシュタル様!
なぜここに…

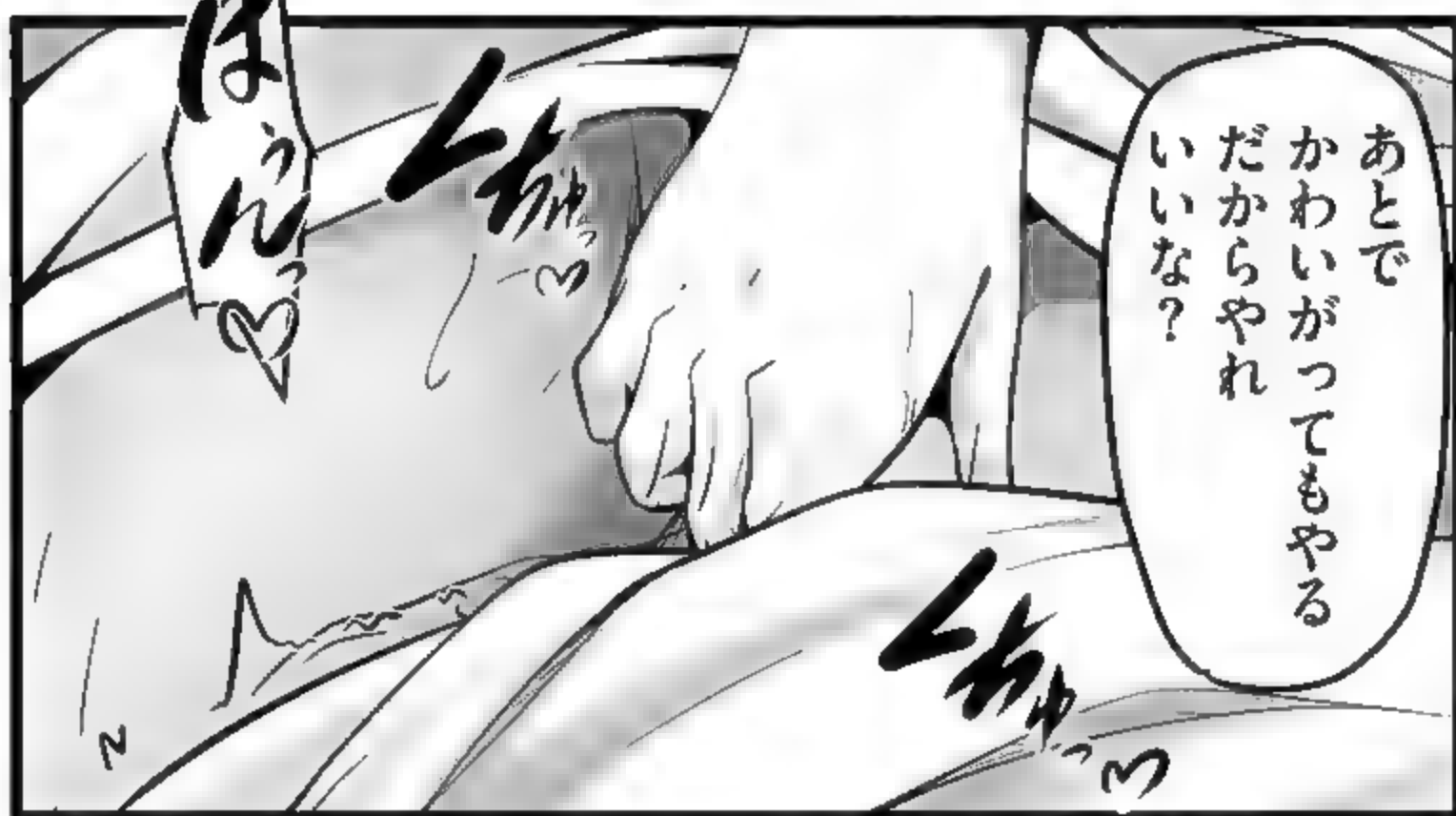
確かに
肖像画などで
見たことが…

なぜこのような
臭くて狭くて
汚い船室などに…!

あちらが
イシュタル様…!?

おい! 私の船だぞ!!

まさか神様まで
あの男の
女なのですか!?
わからん…
それが事実なら
あの男はいったい
何者なのか…
よっと…
ぐっ
よく使われる文字は
全て理解できるはずです
私の部屋の書物も
読めたのでしょう?
ドッ
ミティたちは…少々
地方の人間なので
文字も独特なのですよ
この世界の文字をすべて
理解できるようにしろ
す…すべて!?
できなくはないですが
数が多すぎて…
私の力も消耗しますし…
できればそのまま――

いいからやれ
あんっ
あっ…
むぃ…
おまえは俺の命令に従っていればいい考えたり責任を持とうとするな
くちゅ…
おまえは道具のように俺に使われろ責任は俺が持つ
あとでかわいがってもやるだからやれいいな？
はぅんっ
くちゅっ
くちゅっ
はひぃ…わかりまひた…♡
よし
むぅ…やはり神を支配下においておられる…！彼は神以上なのですか!?
神様相手じゃ嫉妬もしにくいなぁ…
Raw.Se

えめら
みて
すべての文字が日本語に見えるようになった!
よし読めるようになったな
んじゃミティこの名前はどういう意図でつけたのか説明を頼む
御髪が…エメラルドみたいで素敵…だからですっ
うれしいけど…ちょっときれいすぎないかなぁ…うれしいけど…えへへ…♪
にへ
うれしいならそれでいいんじゃないか?
そ…そっかな
あいやまてぃ!まだわらわが提案をしておらぬぞ!!決めるのはそれからでも遅くはあるまい!
それはそうだなよしジェリー発表しろ
ドン
好きなモノの名前
ジェリー

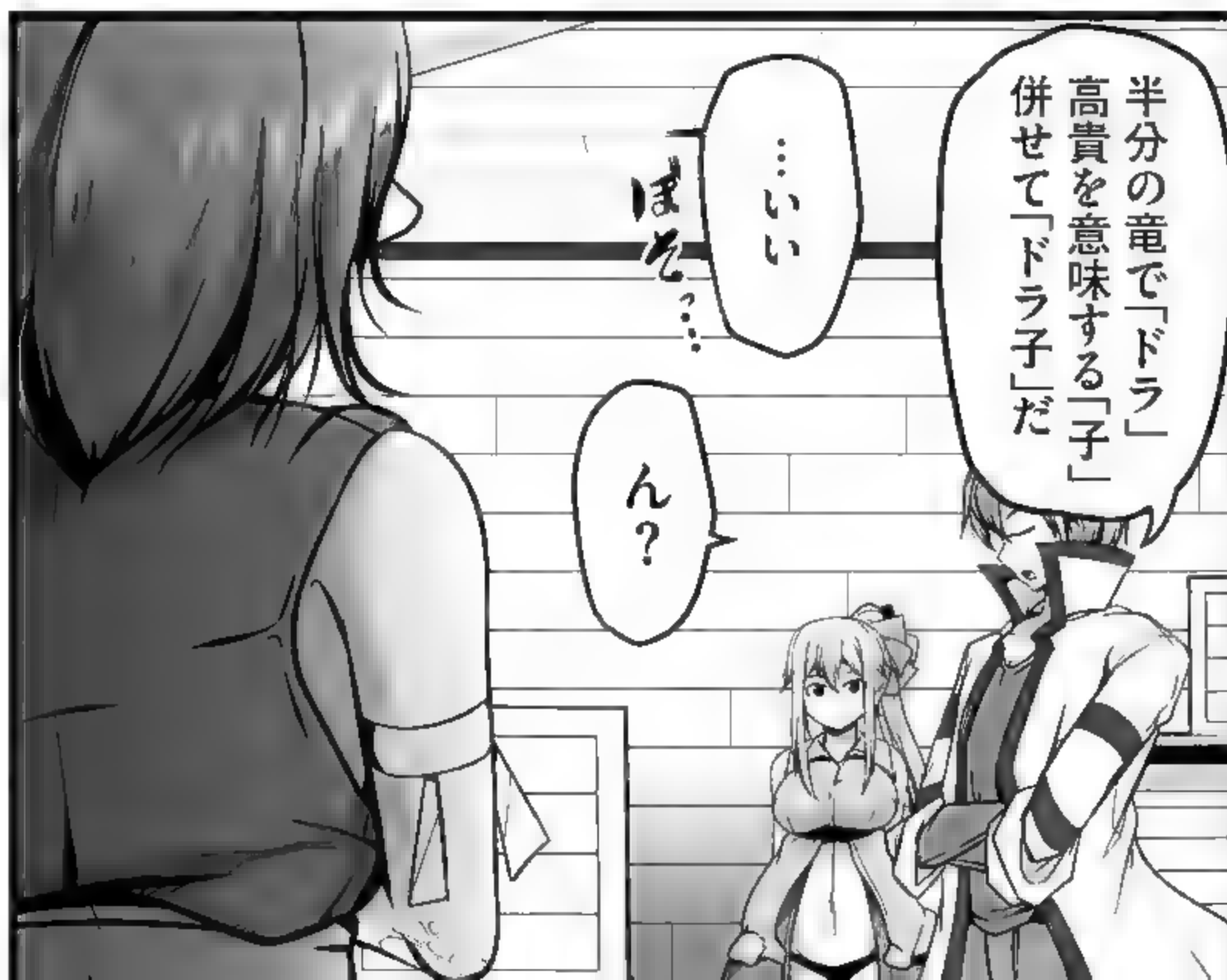
――なんだそれは
自分の好きなものを名前にするのじゃ！悪くなかろう！
フンス
…つまり自分でつけろと？
うむ！自分で決める！これが後悔せぬ命名であるぞ！
自分の好きなものを名前にするのはちょっと難しいかも…
ボク…皆が好きだからラティ・ジェリー＝ミティみたいな名前になっちゃうよ
かわいい
…ラティは何かないのか？
う…うむ考えてはいるのだが決め手に欠けてな…
まぁパッとは思いつかないよな
なら少し考えをまとめたり他の案を練ったりそういう時間を少しとるかじゃぁしばし…
解散！
了解!!

ふ〜む…
どうだ決まったか？
いや…なかなか難しいな
私も同じだ大事な仲間の名前だからな
適当には決められない
そうだな
本人が気に入るか…その問題もあるからな数を多く考えた方がいいのかもしれん
ならいろいろと声に出して提案しあおう音の響きも重要だからな
いい考えだなら俺から——
…
——ってところだ思いついたのを片っ端から言ったがどうだ？
う〜ん…私はピンとこなかったなすまない…
いやいいもっと考えよう

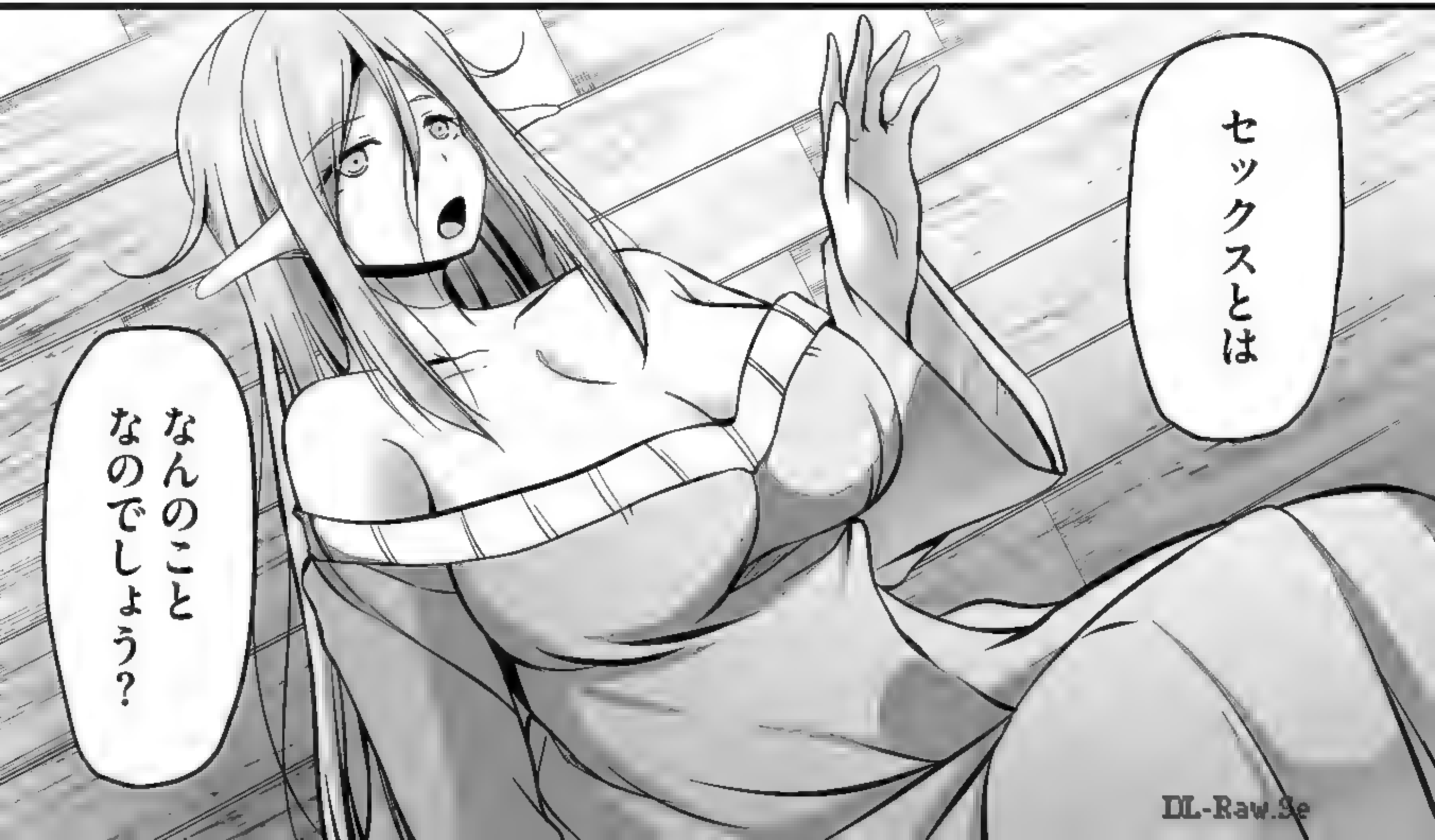
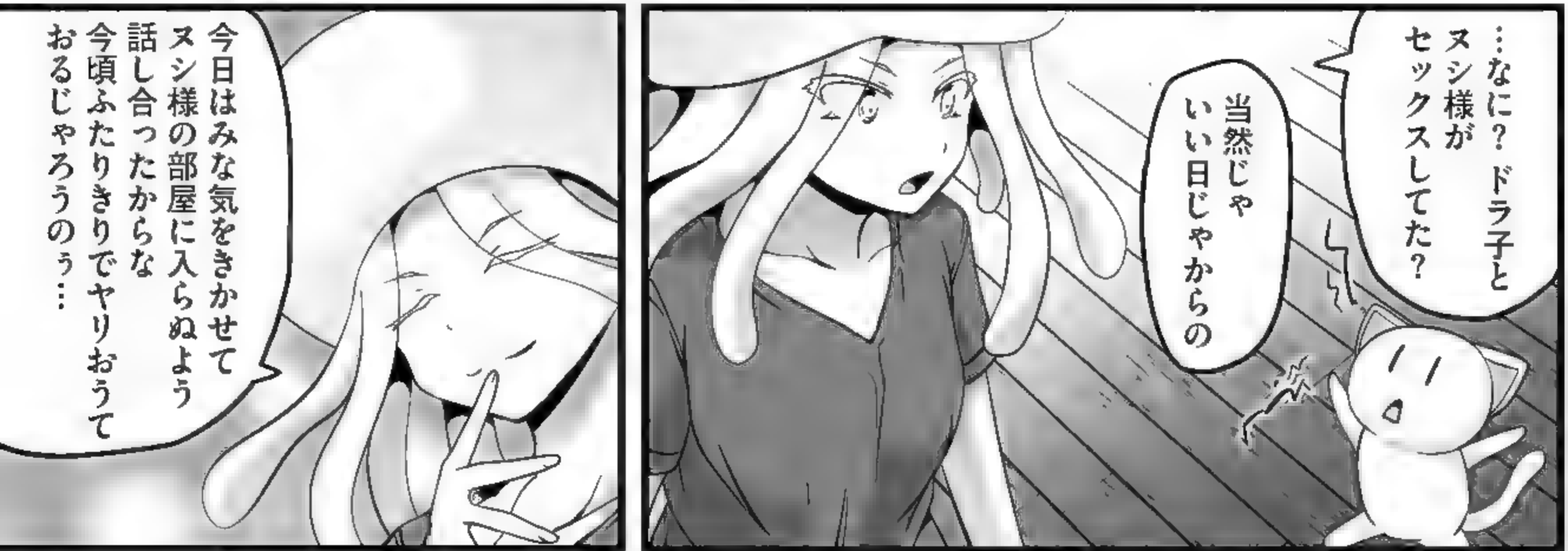
う～～～ん…
ふ…
どうした？
いや…
なんだかな
すっ
子どもの
名前を考えている
その…夫婦みたいに
思えたので…な
仲間は家族
みたいなもの
だからな
家族の名前なら
子どもの命名に
似ているのも当然だ
これでも仲間のことは
自分の家族のように
大事に思っているつもりだ
これはどうじゃ？
きれいすぎる…
かなぁ
似合って…
ますっ
俺がこの世界に残ったのも
そういう考えも
あったからだからな
そうか…

もっとも…この世界で女を抱きたいのも事実なんだがな
少なくとも抱いた女は大切にするつもりだ
だからアイツの名前も真剣に考える
とにかく数を挙げてその中から決めよう
名前なんていうものは閃きが案外重要だ思いつきで構わない
アイツの印象
見た目
性格からでもなんでもいいとにかく挙げるぞ
アイツが気に入るかは別の問題だが
少なくとも俺たちがいいと思った名前をアイツに提示しよう
ふふ…そうだなそうしよう

よし！これでわらわの
発表は以上じゃ！
次はヌシ様かラティじゃ！
――俺たちは
ふたりで決めた
案もひとつだ
バッ

ドラ子…
安直に見えるのぅ…
ドラ子のドラは
ドラゴンのドラじゃろ？
そしてその…
「子」というのはなんじゃ？
わらわも見たことのない
文字じゃが…
もしやヌシ様の世界の文字か？
「子」というのは
俺の世界では高貴な字だ
非常に身分の高いものに
つけられる文字だな
現在では命名に人気が
減った字ではあるが
古くから
用いられているんだ
今でも俺の世界の
…そうだな
王様の一族の女性の名には
「子」が使われているんだ
わぁ…
素敵な…
文字ですっ！
ふむ…
異界の文字を使うのも
また洒落ておるかの
ぱち
ぱち
半分の竜で「ドラ」
高貴を意味する「子」
併せて「ドラ子」だ
…いい
ぼそっ…
ん？

…その名前がいい
半分なのが
ドラゴニュートらしくて
ボクにぴったりだと思う
それに…
ラティと…おまえが
一生懸命考えたのが
伝わってくるから…
そ…そうか！
気に入ってくれたか！
よかった…よかった
決定だな
うん…ありがとう！

種族名を
自分の名に使うのは
人気があるからな
ドラ子…
いいじゃないか
そうですね
私の名も「エルリート」
エルフの種族名が
入っていますよ
よい名だと思います
わらわなぞ
ジェリーじゃ！
種族名そのままじゃぞ！
わわ…
今日はドラ子の
命名記念日じゃ！
今は無理じゃが
街に帰った暁には
盛大に祝おうぞ!!
なで
うん…ありがとう
みんな…
ありがとう…
なで

──しかし結構長くなったな会議
そろそろ休むとするか
そうだな船室は少ないから相部屋になるがベッドは人数分あるさ男はひとり部屋使ってくれ
はーい！
コンコン
で…？ここはひとり部屋だぞおまえはなんでいるんだ
一応雌だろ？おまえ…
どうぞー
なんだドラ子かどうした？もう夜も遅いぞっていうかその服は？
これは街の店でついでに買った服で…その…お礼…しにきた
名前の礼か？別にいいんだがな

それじゃボクがイヤなんだ…っ
ぬ♥
ん…ちゅ♥ちゅ♥
ん♥はあっ♥
ぬと…っ♥
下着…脱いできたから…今日はボクがしてあげる
はー♥
はー♥
ボクを幸せにしてくれた分お返ししなくちゃ…♡
むわっ♥
邪魔
ぽいっ
…!
DL-Raw.Se

あっ♡
あんっ♡
どう…っ
気持ちいい?
ボクのなか…っ
きもちいいっ?
はっ♡
んっ♡
あぁ…
いいぞドラ子
イクぞ
ドラ子…っ
中に出すぞ
うんっ…
いっぱい出して…っ
ボクのお腹に…い♡
ずぷっ♡
DL-Raw.Se

ニャ
ニャ
ん？なんじゃ
タイガの猫か
どうしたんじゃ
おヌシは
船員室であろう
…なにか
伝えに来たのでは？
どうしたのです？
…なに？ドラ子と
ヌシ様が
セックスしてた？
当然じゃ
いい日じゃからの
今日はみな気をきかせて
ヌシ様の部屋に入らぬよう
話し合ったからな
今頃ふたりきりでヤリおうて
おるじゃろうのぅ…
なんと気が利く
わらわたち…
これは明日あたり
わらわたちも
ヌシ様と
セックスを——
ススッ
…あの いい
でしょうか？
セックスとは
なんのこと
なのでしょう？

じゃから「セックス」とはなんぞやとヌシ様に教えてほしいと

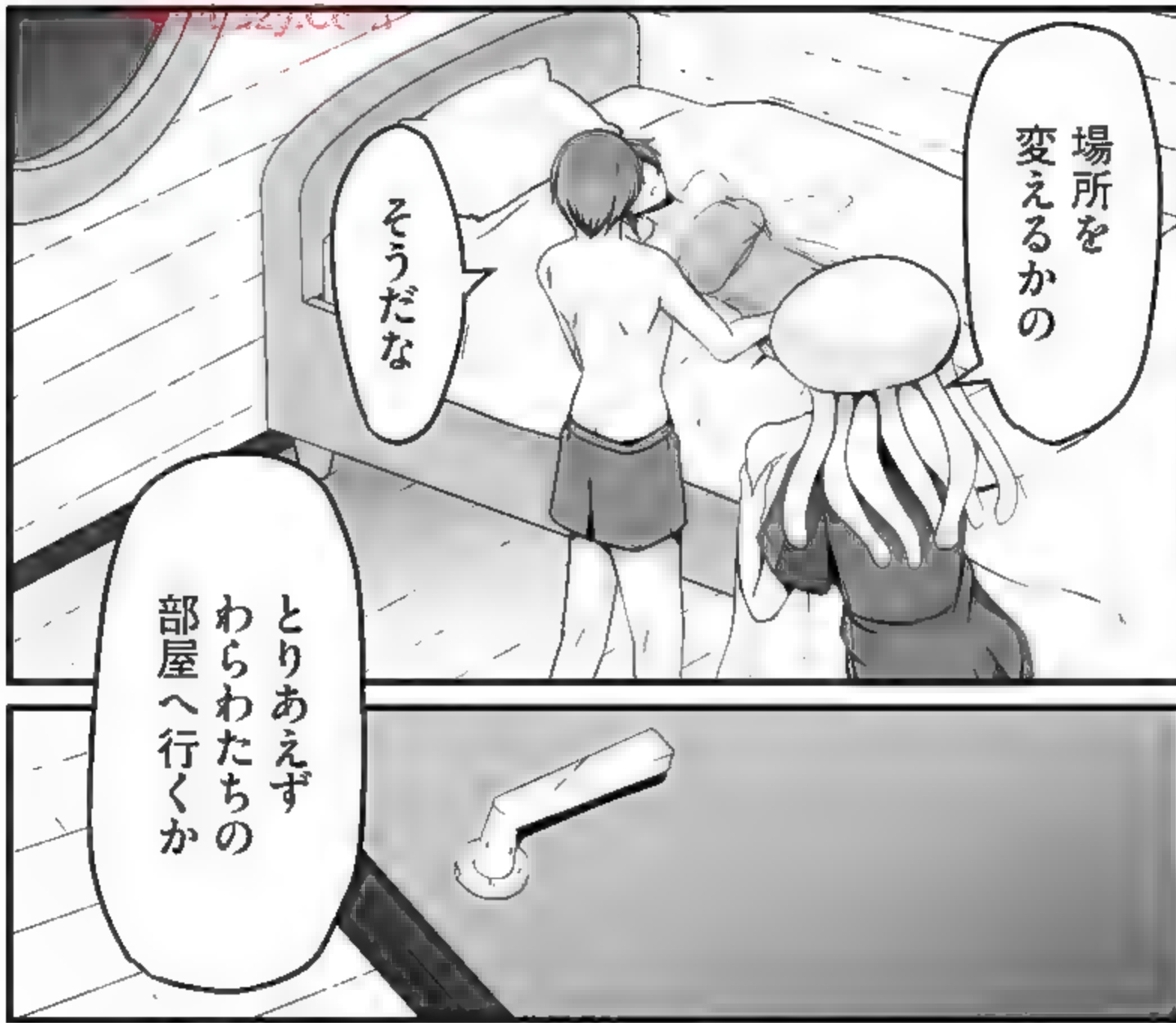
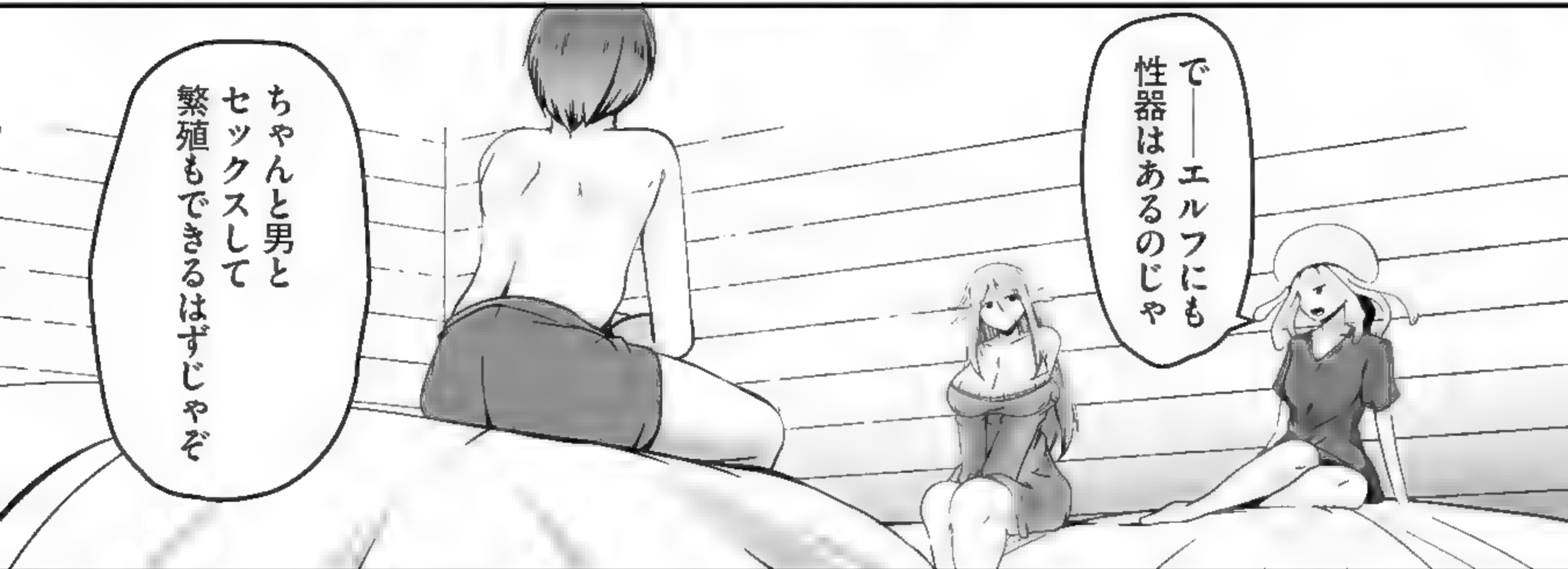
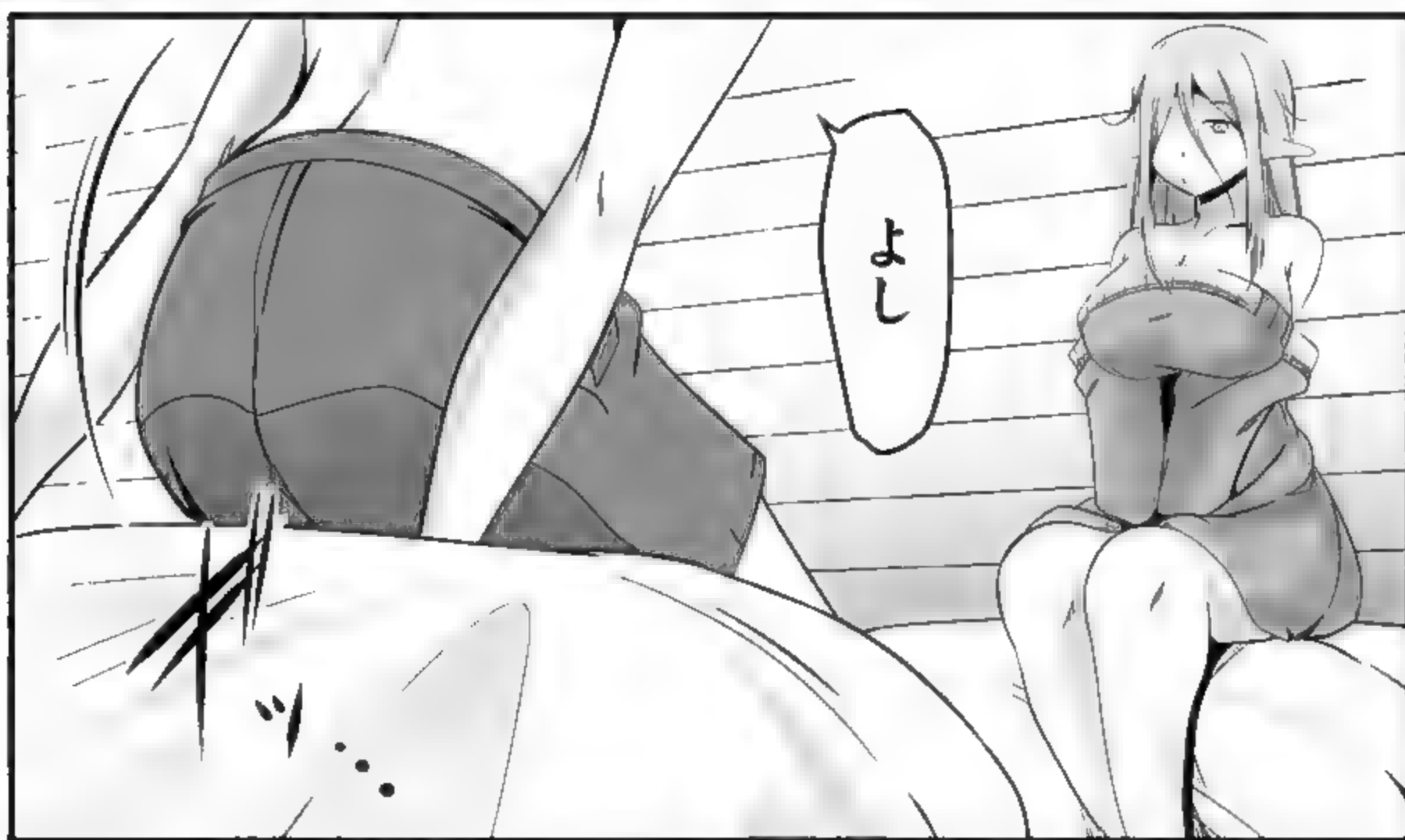
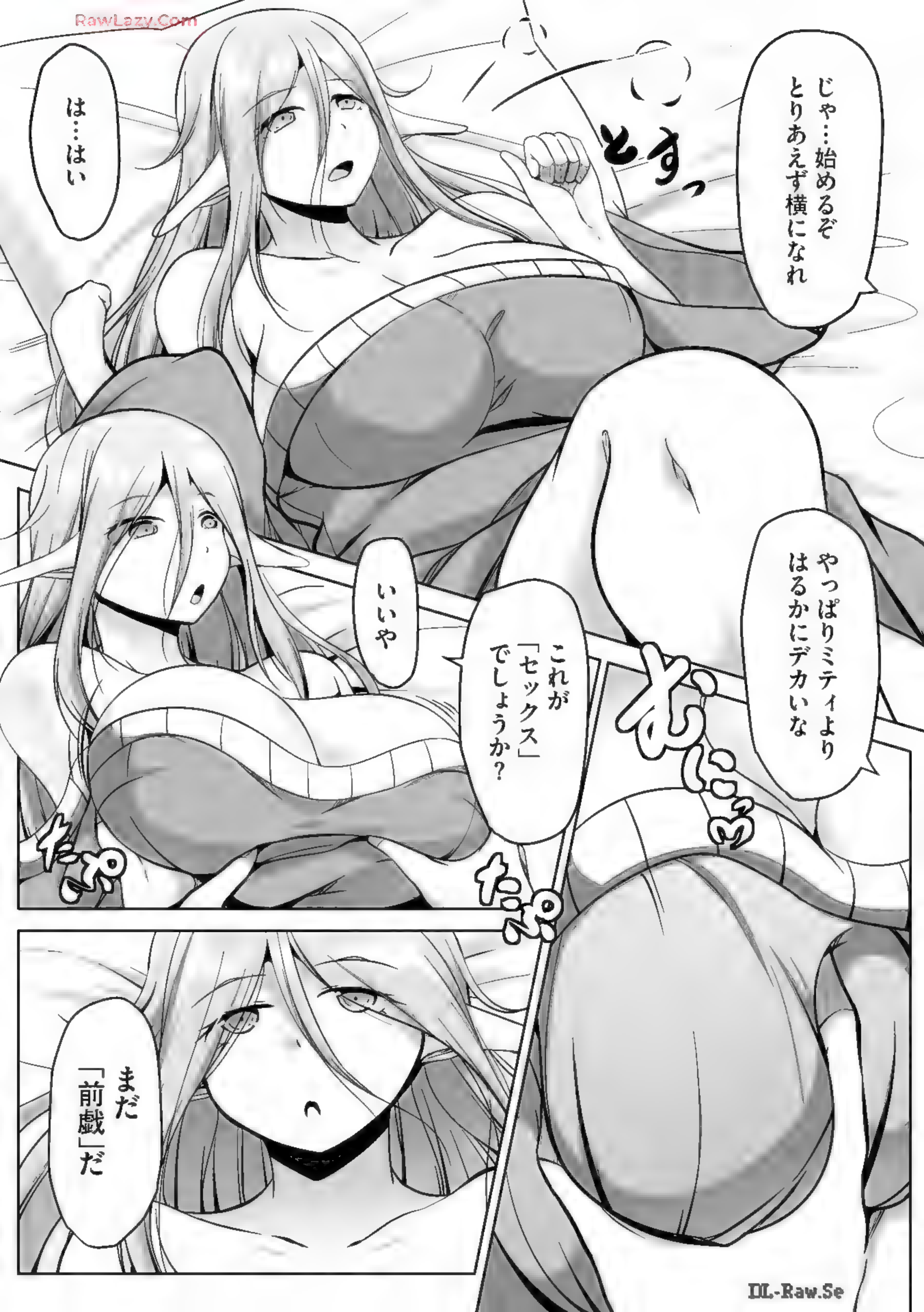
【第21話】

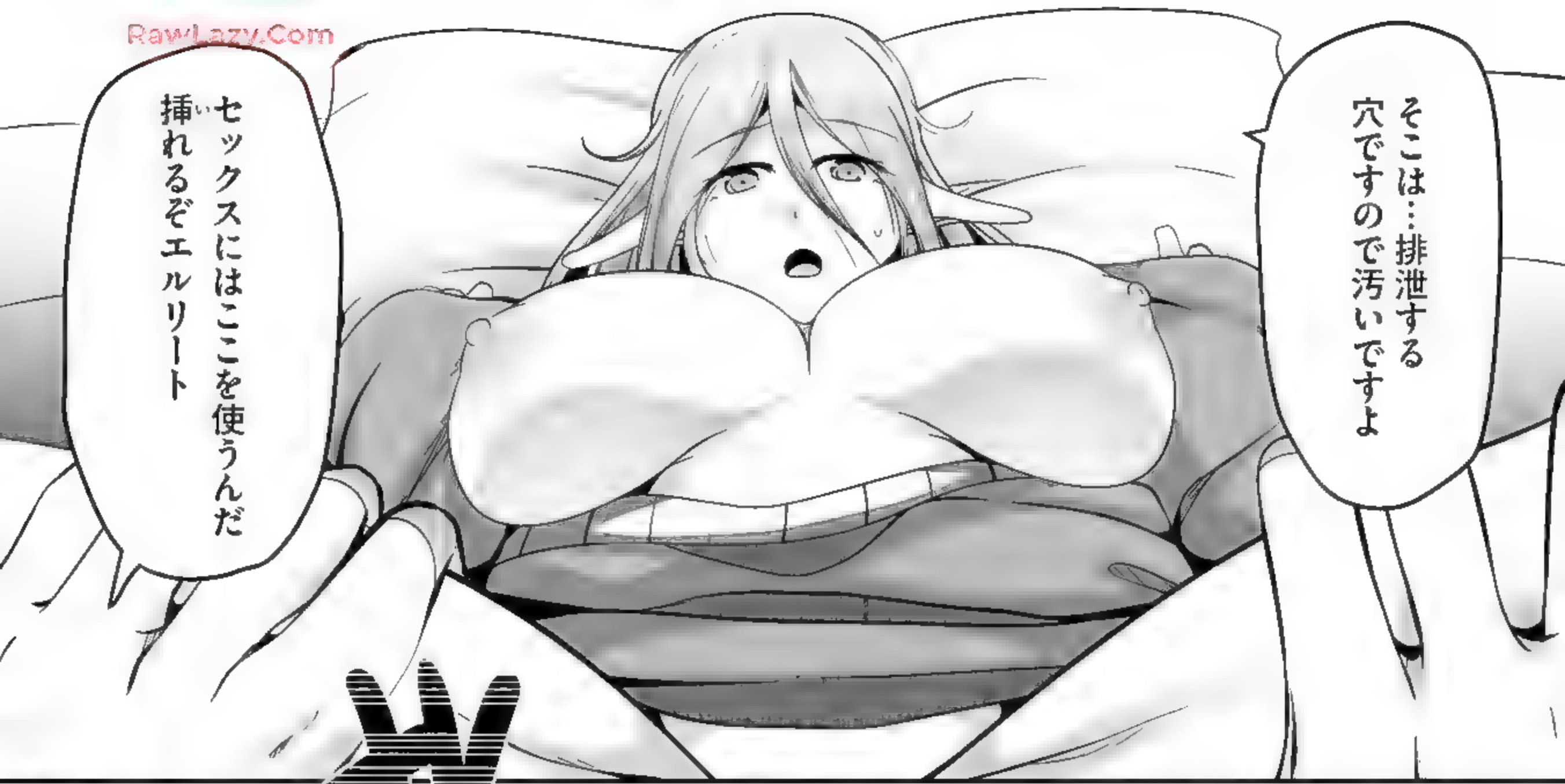
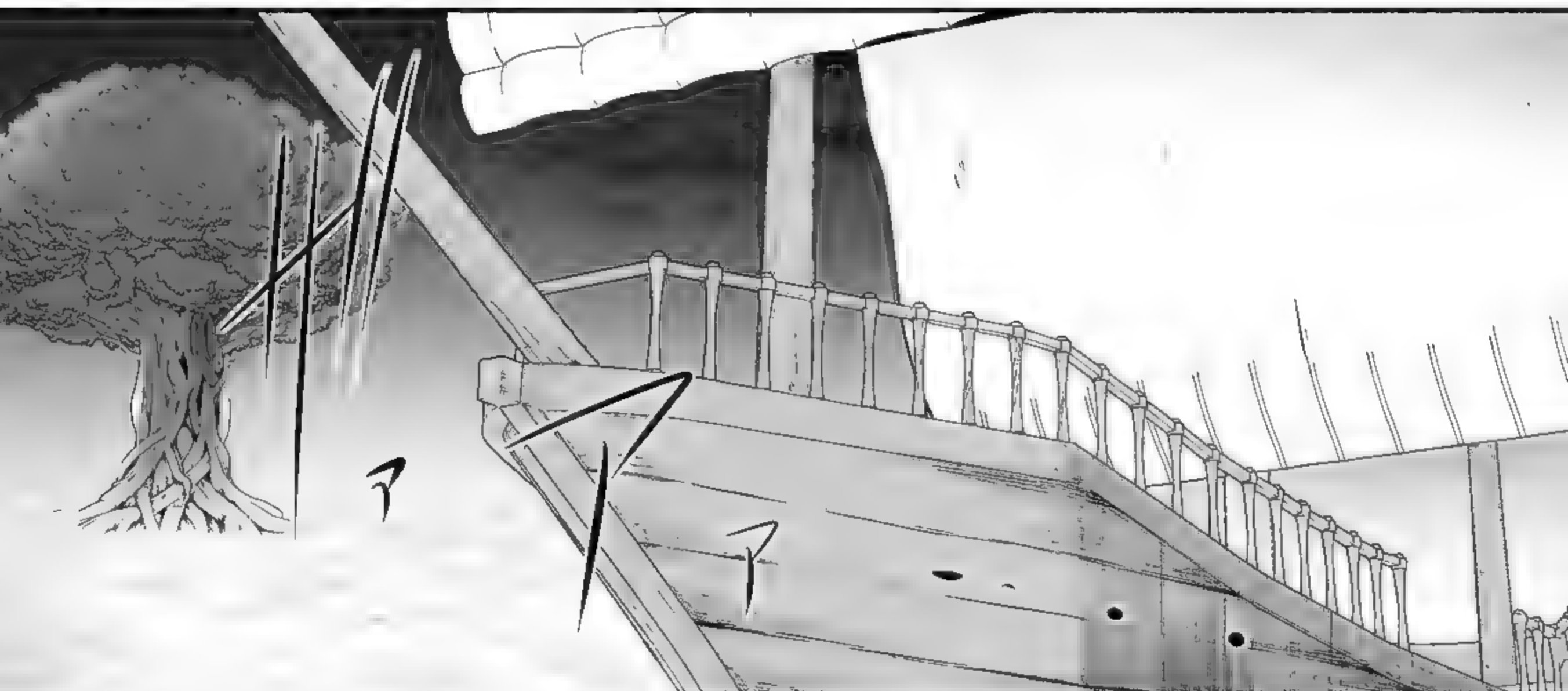
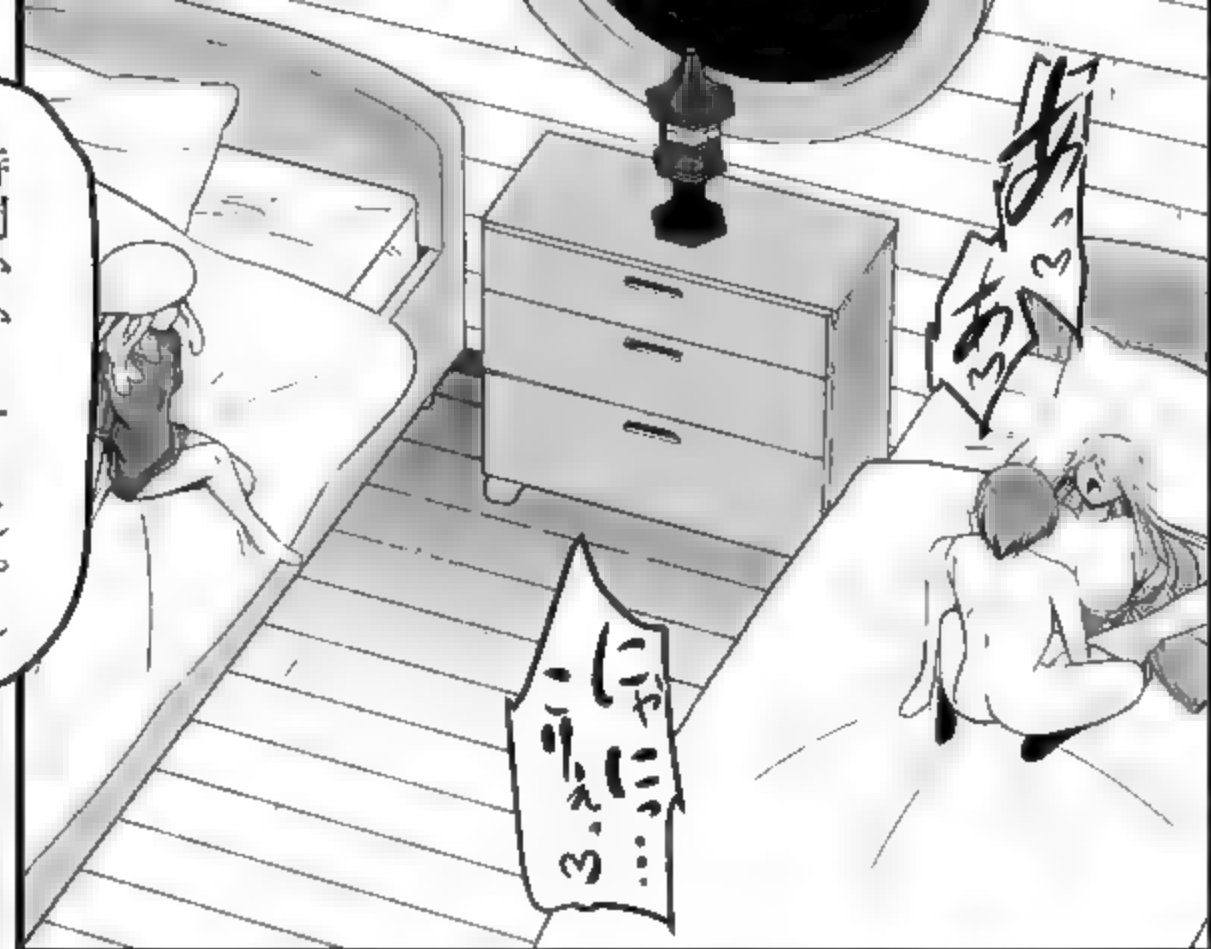
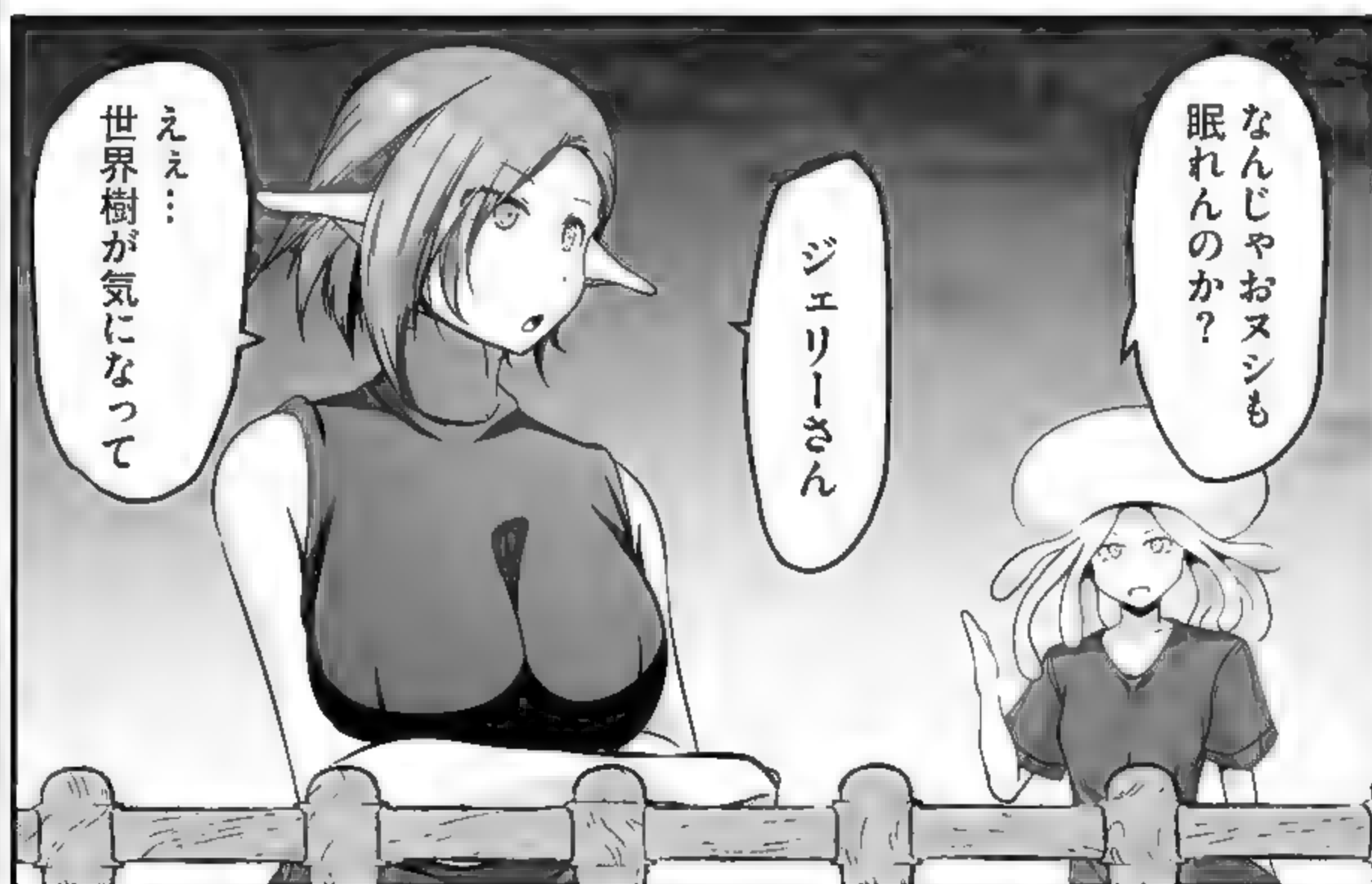
何せ一番詳しいのはヌシ様じゃからのぅ

どうせスることになるんじゃし…手間もはぶけるしの

世界樹の葉の上で月光浴をし眠るのです

何？

こんないい乳しておいてセックスしないとは宝の持ち腐れだろう…いや待て結論はまだ早い
大事なことなんだが…性器や子宮はついているのか？
人間とのハーフもいるから…多分…
ドラ子…おまえ眠そうだな
うん…いっぱいしたから…
幸せな気持ちで眠れそう…
ぽてっ
ん…

寝ちゃったな
……
かわいい寝顔じゃのぅ
場所を変えるかの
そうだな
とりあえずわらわたちの部屋へ行くか
で――エルフにも性器はあるのじゃ
ちゃんと男とセックスして繁殖もできるはずじゃぞ
単為生殖が主じゃが有性生殖もできる
女性だけで増えるとほぼ同じ子が生まれる
男と混ざると優れた個体が生まれたりする
種が安定している時は
女だけで増やし
有事には男を混ぜる
外部の血を取り入れ強くするときに行うそうじゃのぅ
なるほど
ニッ…

エルリート
おまえたちの里は
邪神の眷属に狙われている
だから一緒に戦える戦士を
求めている
そうだったな？
は…はい
そのとおりです
ピクッ
よし
ッ…
俺たちは
おまえたちに協力する
その見返りとして──
おまえは俺と
セックスをしてもらう

あなたと「セックス」をすればよいのですか?
んぃっ
そうだ 俺が邪神の眷属を倒してやる
等価交換だ
は…はひぃ! おねがいしますぅっ
エルフは耳が性感帯じゃったの…

じゃ…始めるぞ
とりあえず横になれ
とすっ
は…はい
やっぱりミティより
はるかにデカいな
むにっ
いいや
これが
「セックス」
でしょうか？
たぷ
たぷ
まだ
「前戯」だ

──エルフの胸は
魔力を蓄える器官です
それを搾るのが
「セックス」かと
思いました
まだ
違うのですね
ぐっ…
…そういう器官
だったのか？
んっ
ぴゅっ
ぴゅっ
そ…っそれが
魔力の…塊ですっ
あ…あの…
ペロ…ッ
母乳かと思ったが
なるほど…
舌がビリッとするな
これが魔力か
DL-Raw.Se

そこは…排泄する穴ですので汚いですよ
セックスにはここを使うんだ 挿れるぞエルリート
え…あ…あっ

あっ…あっ
にゃにっ…こりぇ…
時間かかりそうじゃし
眠気覚ましに行くか
ふあ…
ヤっ…ヤらぁ
へんに…っちゃう

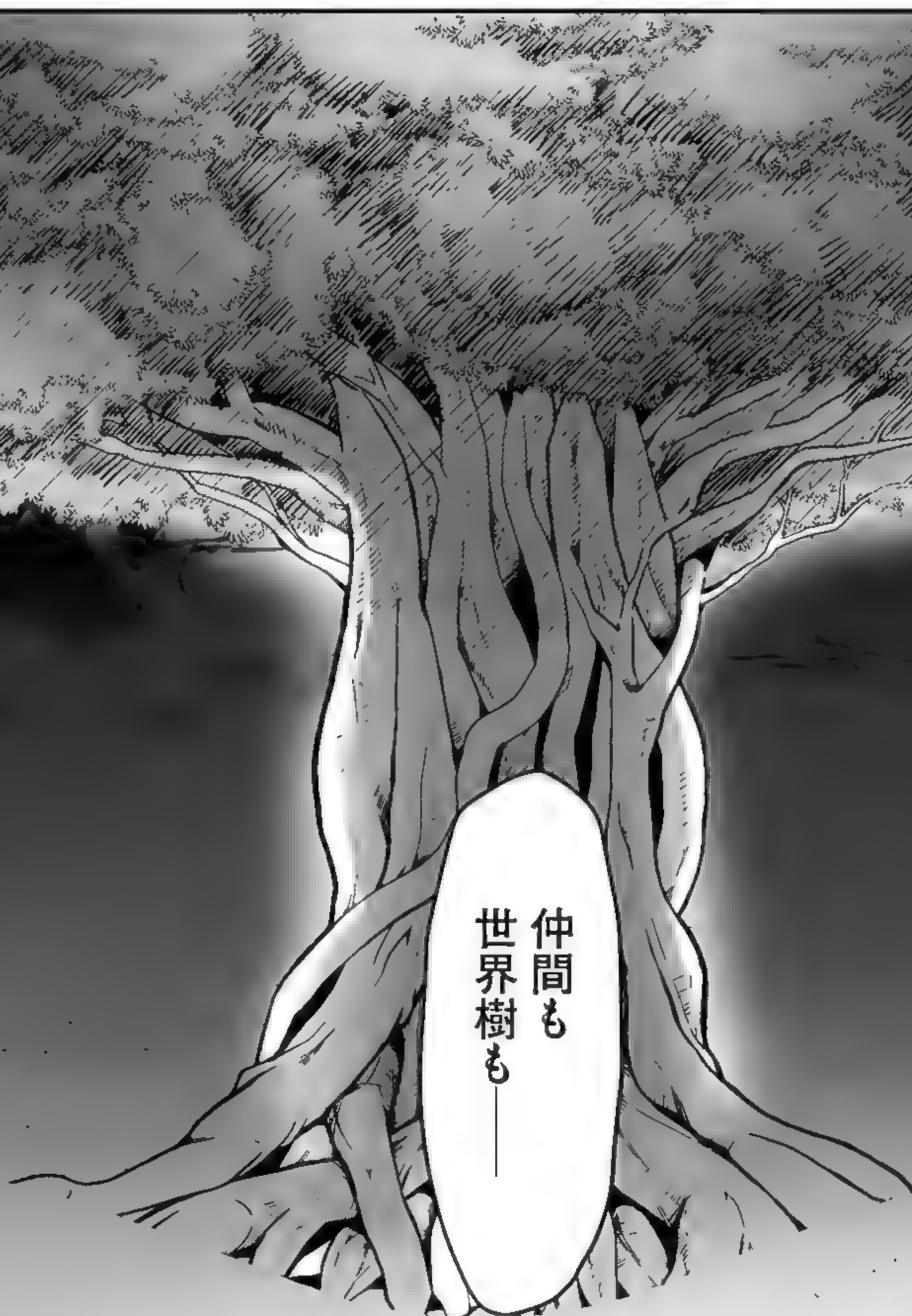
ア
ア
ア

おお…
砂漠の夜は
寒いのぅ…
ん?

心配はいらん ヌシ様がなんとかしてくれるはずじゃ …その契約を今しておるしな

そうですか… 私も彼には期待しています

仲間も
世界樹も――

――って言ってたのに
どうしたどうしたぁ!?
リーダーがいねぇんじゃ
おまえら烏合の衆じゃねぇか！
やりたい放題だぜぇ！
あぁー
どくん
どくん
どくん
邪神の眷属　リーフ＝ドライアー

おら命乞いでもしてみろよいい声でさぁ!?
…!
…ッ!
…これがエルフの命乞いってわけじゃねぇよなぁ?
ィ……

たとえ
命を取られようとも
砂漠のエルフは
屈しない……！
邪神の眷属などには
特にッ!!
んんぅ…ッ…！
ぢゅぽんっ
いいねぇ！
面白いじゃないか！
気に入ったぞおまえぇっ!!
アタシ自ら
搾り取ってやるよ!!

ドクッ
ドクッ
ハハハ！
すげぇすげぇ！
大量に出てきてやがる！
魔力の塊がよぉ！
ドクドク
ドクドク

さすがアタシだ
魔力搾りの植物より
何倍も搾れる…
ん？
ジュル…ル
おっといけねぇ…
搾りすぎて
まな板になっちまった
あんまりやりすぎると
死んじまうからな
大事にしねぇとな
魔力供給の
「家畜」はよぉ…
さぁて…
次はあんたにしようか
親衛隊だっけか？
いい悲鳴を聞かせて
もらおうじゃないかぁ

…好きにしろ
どうせおまえもリーダーが
帰ってくるまでの命だ
せいぜい楽しめばいい
…砂漠のエルフってのは
どいつもこいつも
生意気でいいねぇ
アタシはそういぅヤツの
鳴き声が好きなんだよ！
親衛隊なら頑丈だろう!?
試してみるかぁ！
アタシの技で
天国へ行くかどうかをさぁ！

っ……!?
くっ……
いい格好だねぇ…さすが未使用なだけあってきれいなもんだが――
ぬぽっ……
熟練の売女(ばいた)より使い込んでるモノにしてやるからなぁ～
くぽっ
オラッ！いい声で鳴けっ!!
い……っ……!!
ズッ

RawLazy.com
ほらほらどうだ？
アタシの「技」は
おっ
んくっ…！
おっと…
穴はもうひとつ
あるんだよなぁ
おっ！！
DL-Raw.Se

ハハハハハ！
いい声じゃねぇか！
どうしたぁ!?
さっきの威勢はぁ！

…あーぁ
やっぱり遊び始めちゃった
邪神の眷属　リッキー＝トイス

リーダーのいない
今がチャンスなのに
まったく…

はい すとっぷー
そこまでだよー
あぁ!?

ちゃんと魔力を集めないとダメでしょ

わかってるよ！うるせぇなぁ！

今から やろうと思ってたところだよ！

ぽん

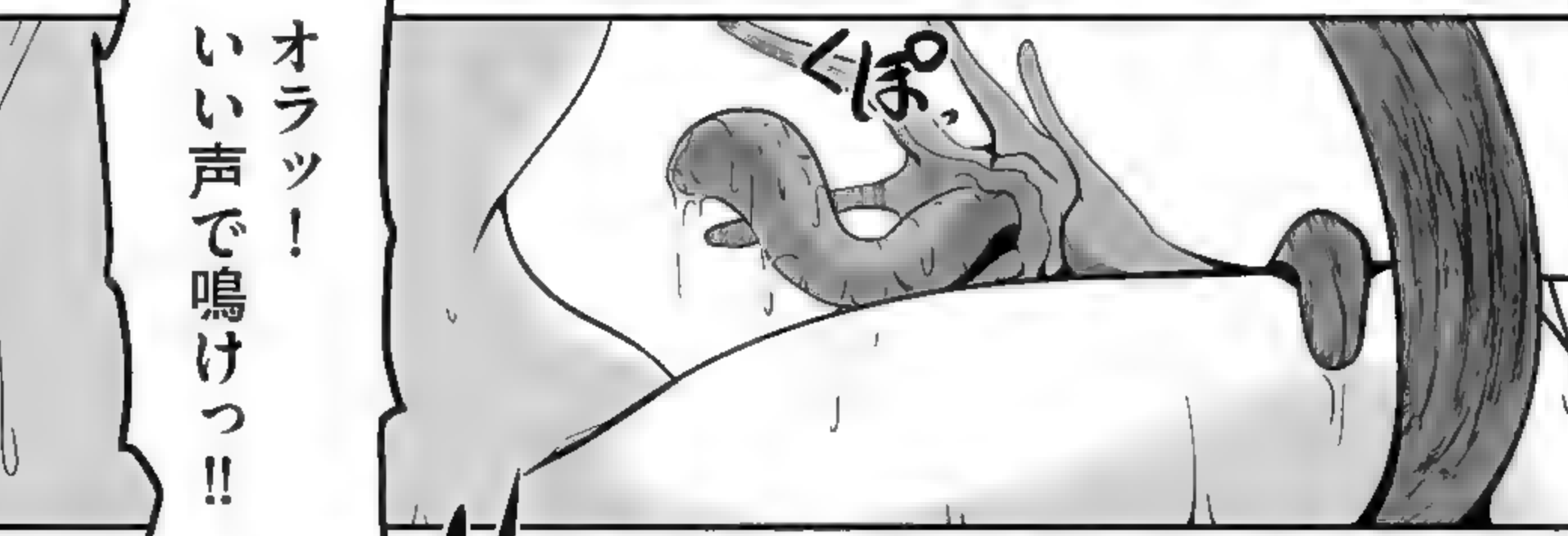
ぽん

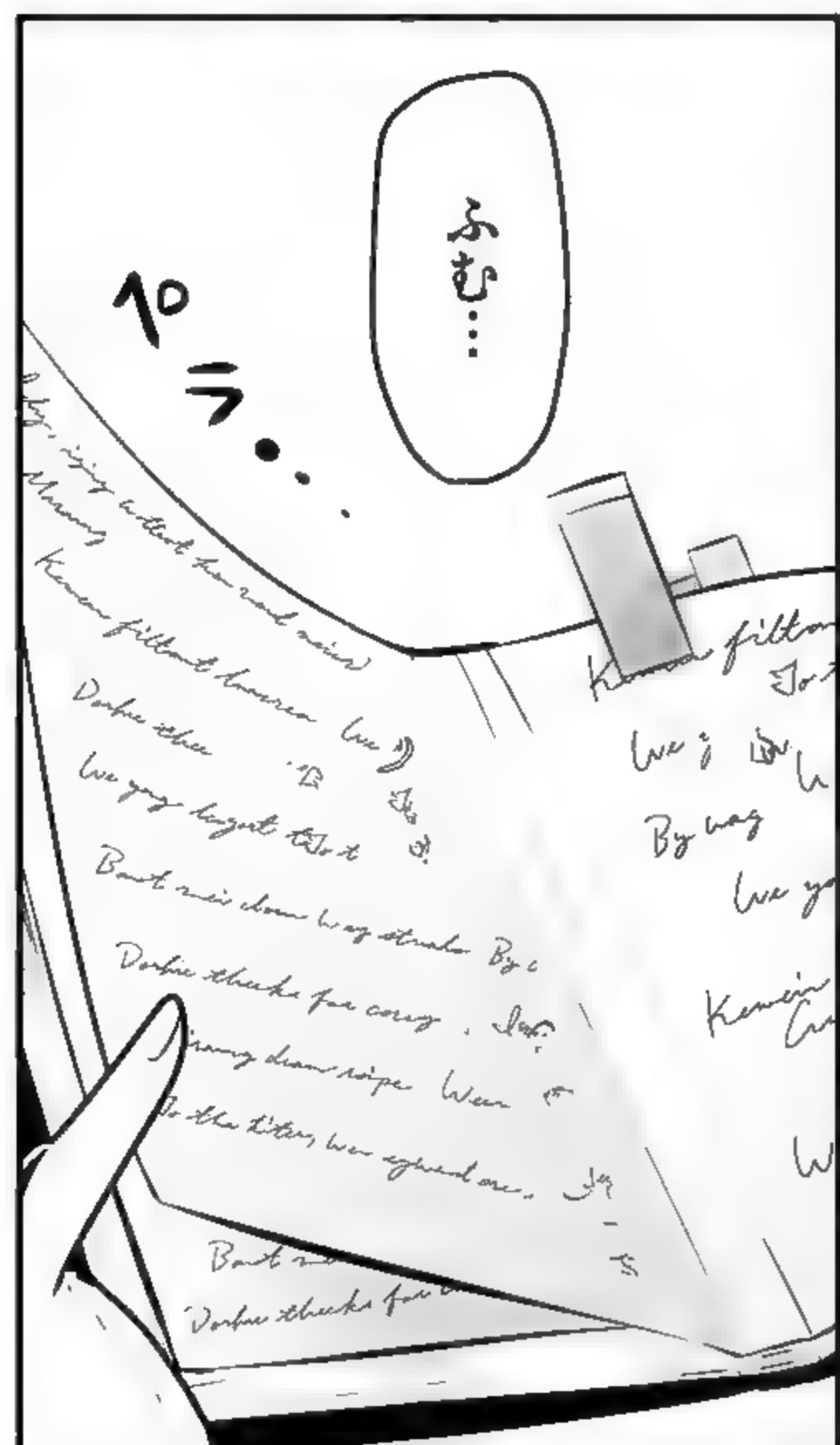
少なくとも4タル分はね

ホントにわかってる？ちゃんと集めないとみんなに怒られるからね？

…

こいつらから搾るんだよ？わかったね？

わかってるってば！もう帰ってろっ！

ったく…
ガキのくせに
うるせぇやつだ
ま…そろそろ
注いでおいた方が
いいのは確かだな
この大量に
集めた魔力を――
トクン…
トクン…
トクン…
トクン…
DL-Raw.se

ま…確かに遊ぶのは
明日にするか…
もっといい声が
聞けるはずだしな
イシュタルの加護を受けた
勇者様ご一行の
命乞いの悲鳴がなぁ！

世界樹が近づいてきたぞ!
な…!?
【第22話】
どうなっているんだこれは!?

この様子じゃ
すでに侵略されていると
いうことだろうな

そんな…
たった1日で…

世界樹が…

へた…っ
仲間もみな
やられてしまったと
いうのですか…!

ふむ…
ペラ…

どうする?
もう敵の陣地だぞ
わかっている
少し待て

敵は連絡型の魔物を世界樹周辺に配置しているらしい

見たところ…あのキノコの糸や胞子で監視と盗聴をしているようだな

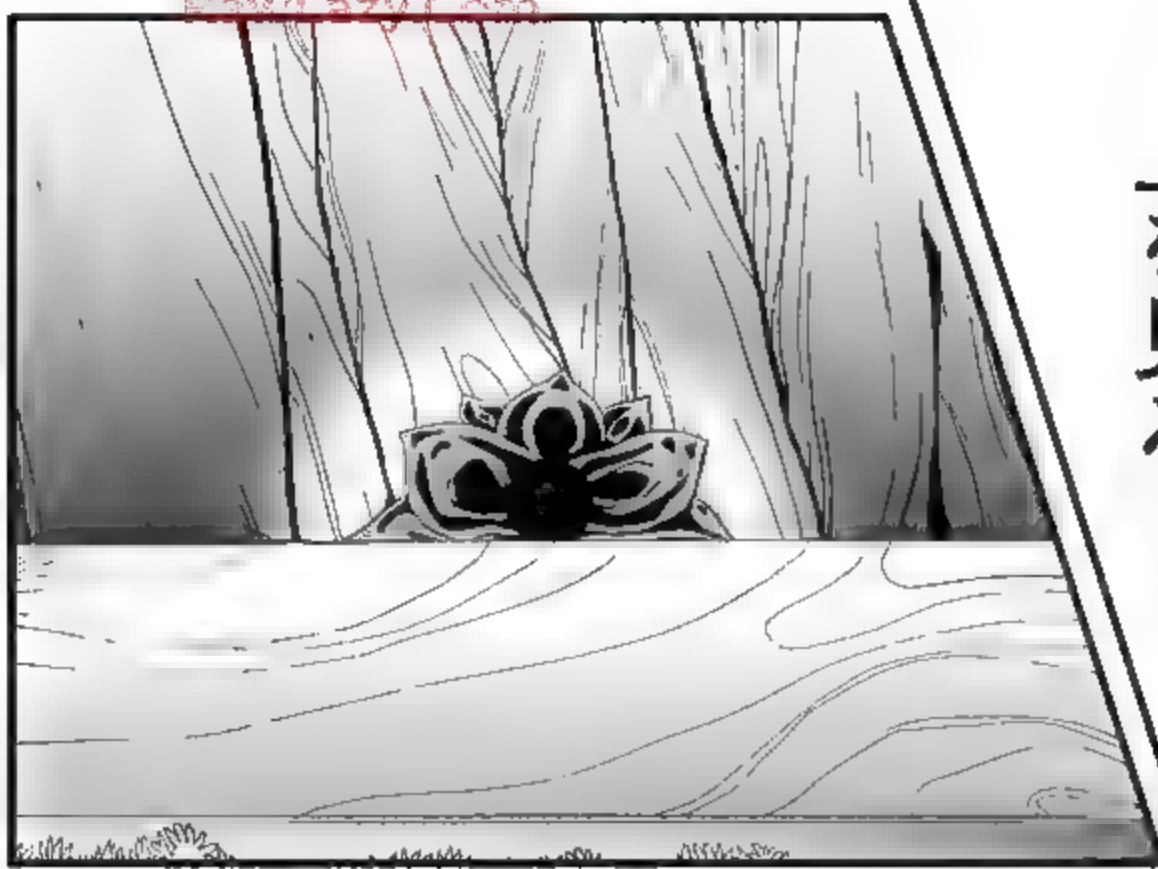
パタン

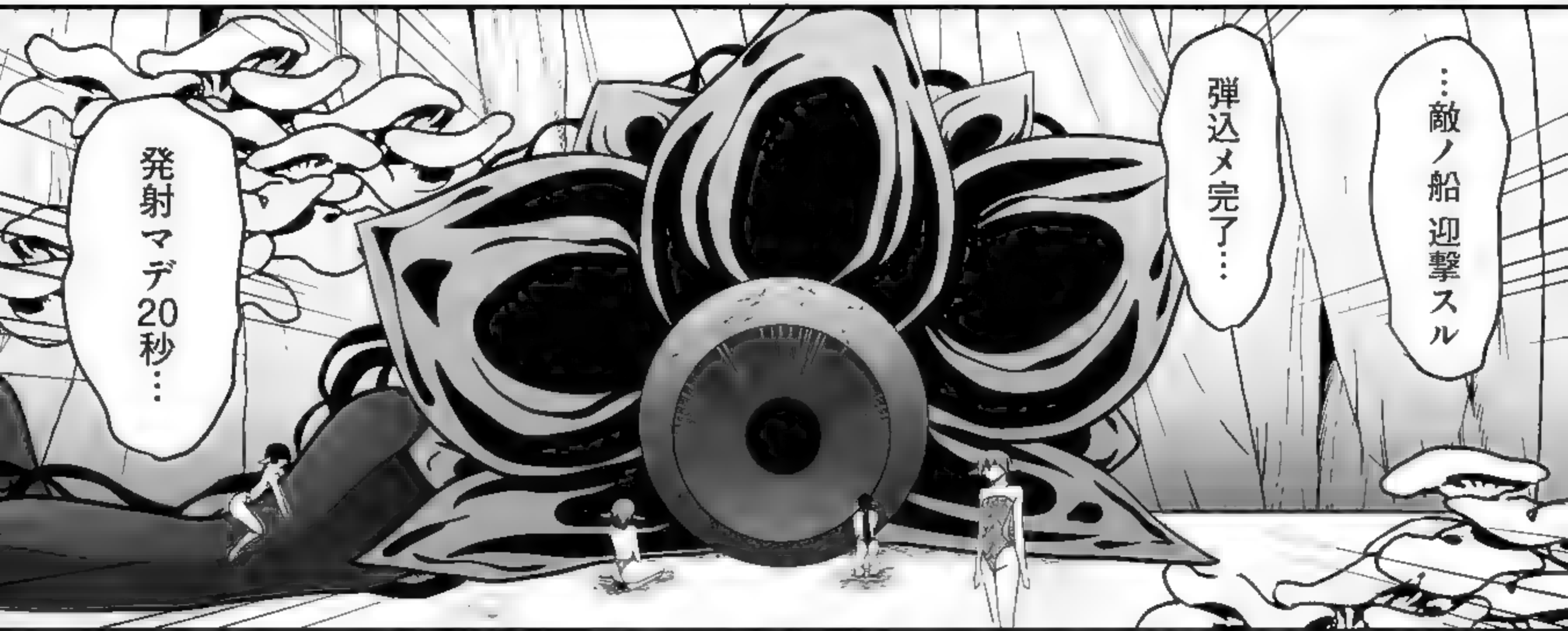
つまり…

こちらの行動はすでに筒抜けか

そういうことだ

なら――

真正面から突入する!!
コソコソ行っても同じだからな！
入口に向けて全速前進！

しゅるる
おいおい
まっすぐ来る気かぁ？
いいねぇ！
気に入ったよ!!
ざっ
敵は正面から来たぞ！
全軍迎え撃て!!

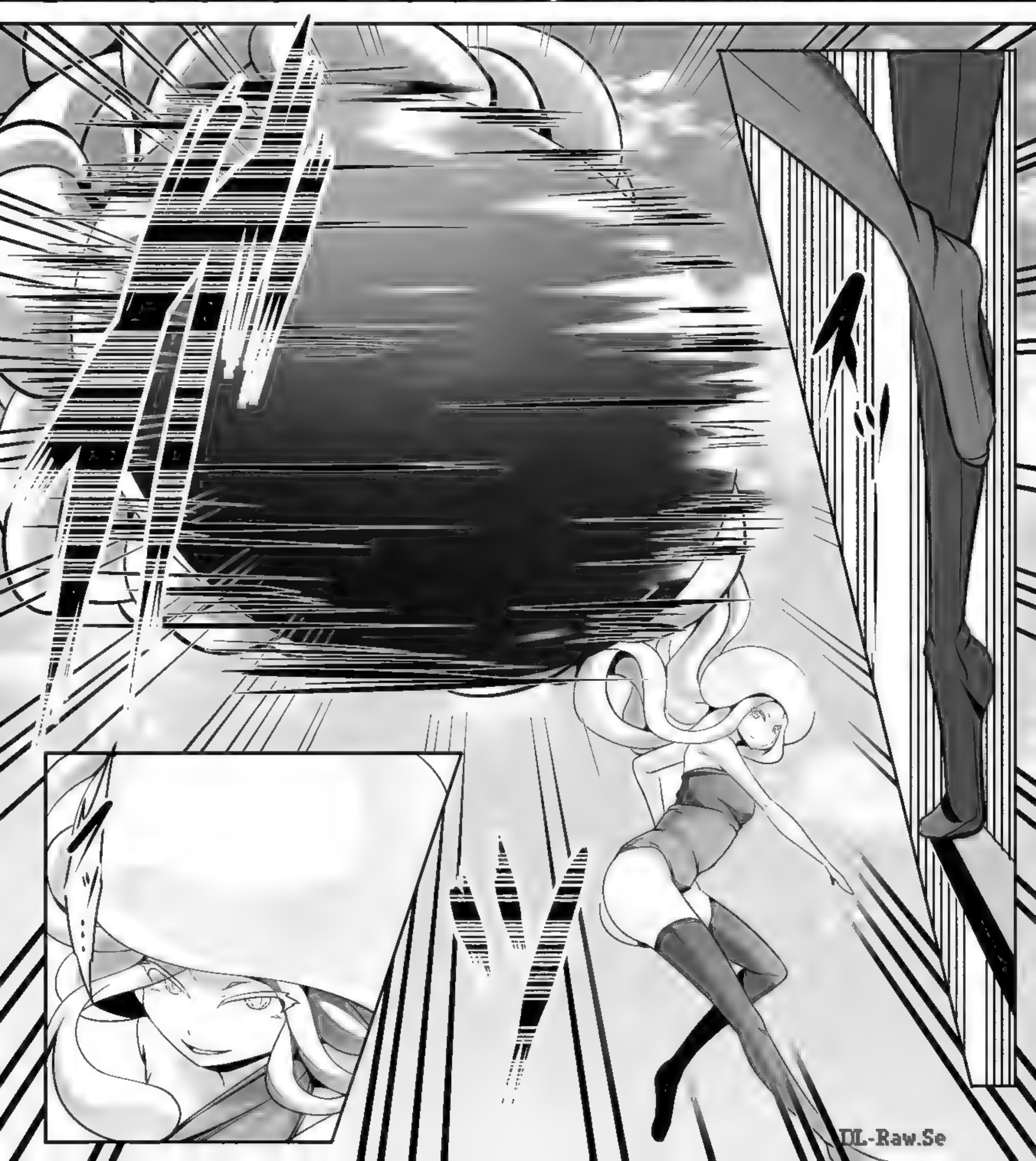
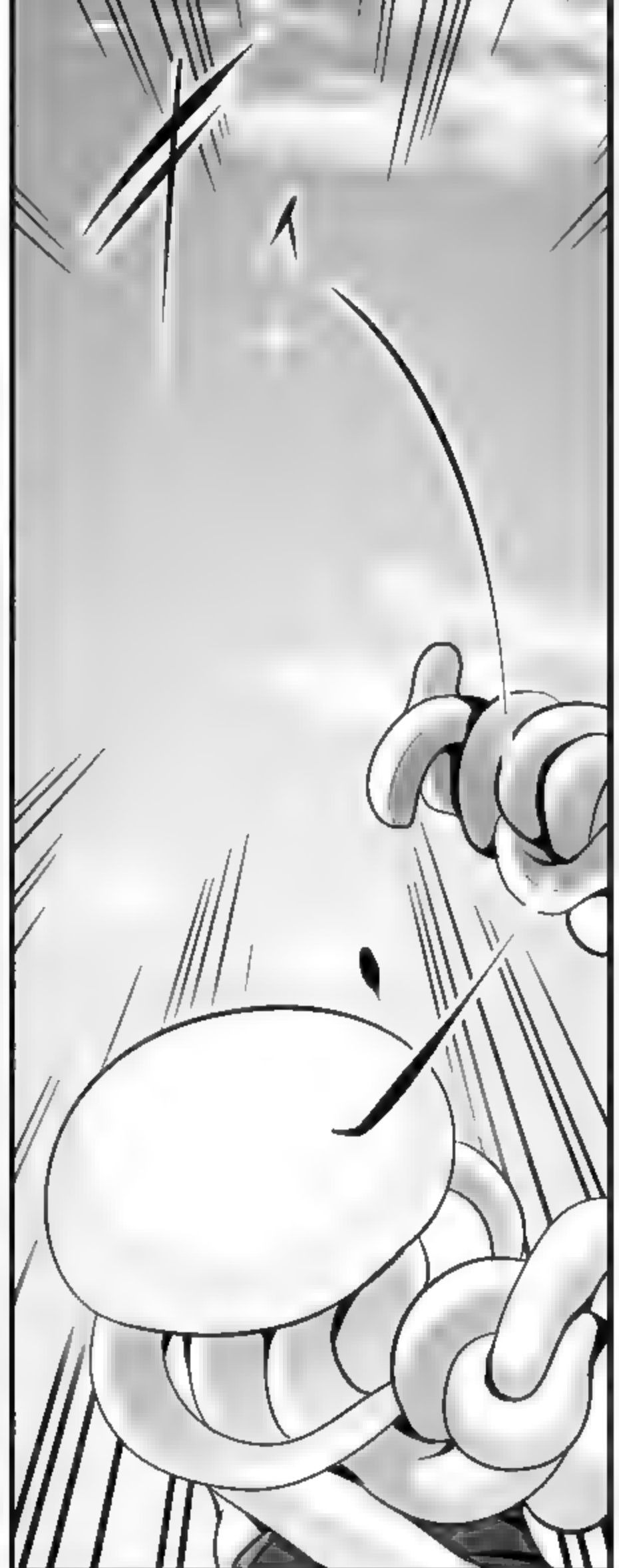
っ！上を見ろ！

…敵ノ船 迎撃スル

弾込メ完了…

発射マデ20秒…

やれるか？
ジェリー
うむ
わらわにかかれば
大砲の弾のひとつやふたつ
むに♡
んっ♡
頼むぞ 終わったら
かわいがってやるからな
ふふん…
わらわのすごさを
そこでしかと見ているが
よいわっ♡
っ！来るぞ!!

遅いのぅ…
止まって見えるわ

う…
打ち返した⁉
嘘だろ…
おー…
これはレフト方向に
ホームランだな
その調子で頼むぞ
世界樹方面には
飛ばさないようにな
任せておけ
わらわは名打者じゃからな！
…！
あねさま…！
なにか来ます！
っ⁉

ズザザザァァァッ
あの生き物は…砂イモリか！
のぼってきます…っ！あねさま…っ！
ゾゾゾゾ

なんだ…!?
あの股の植物は…
ウジュ… ウジュ…
ミティイ!
わ

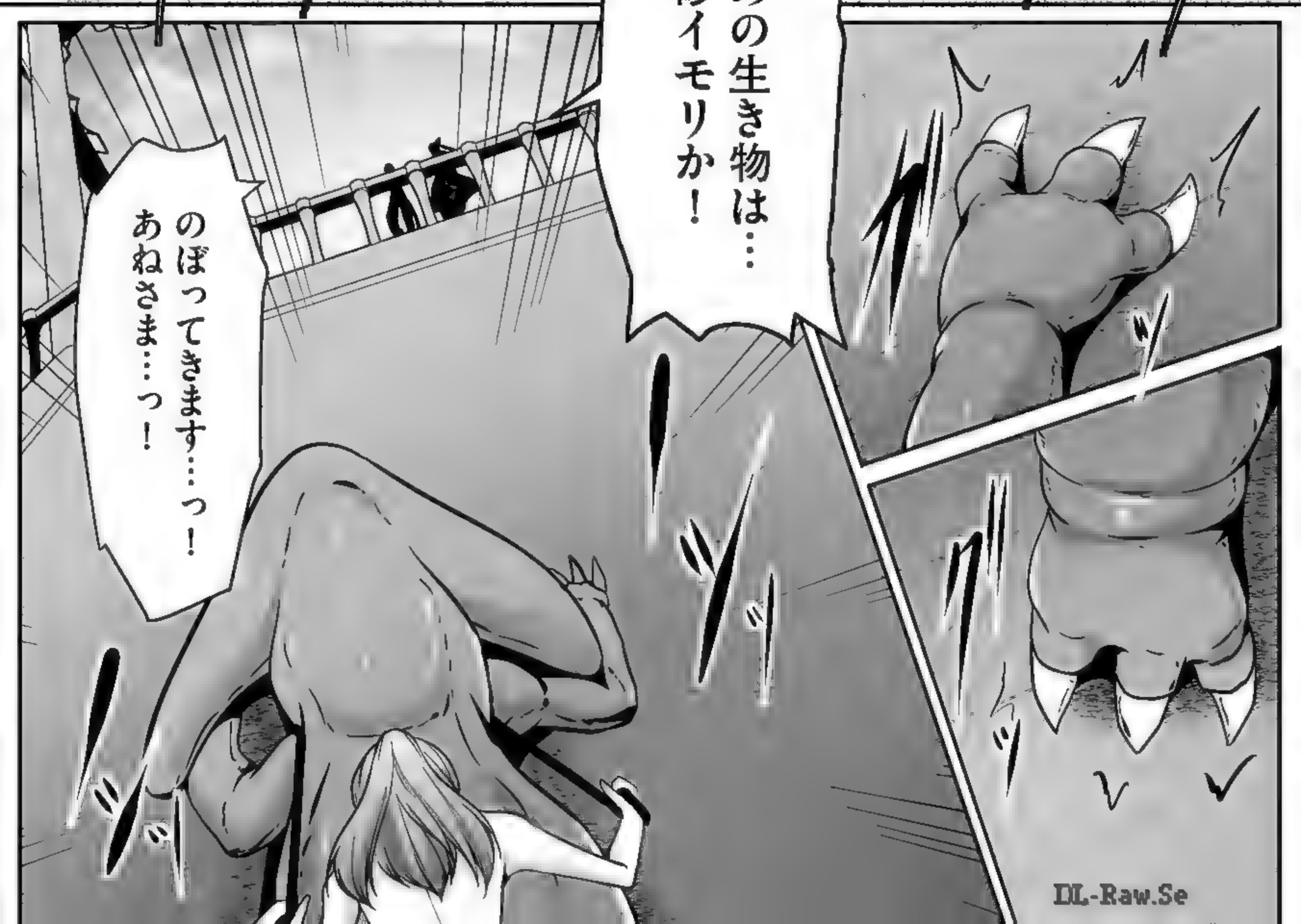
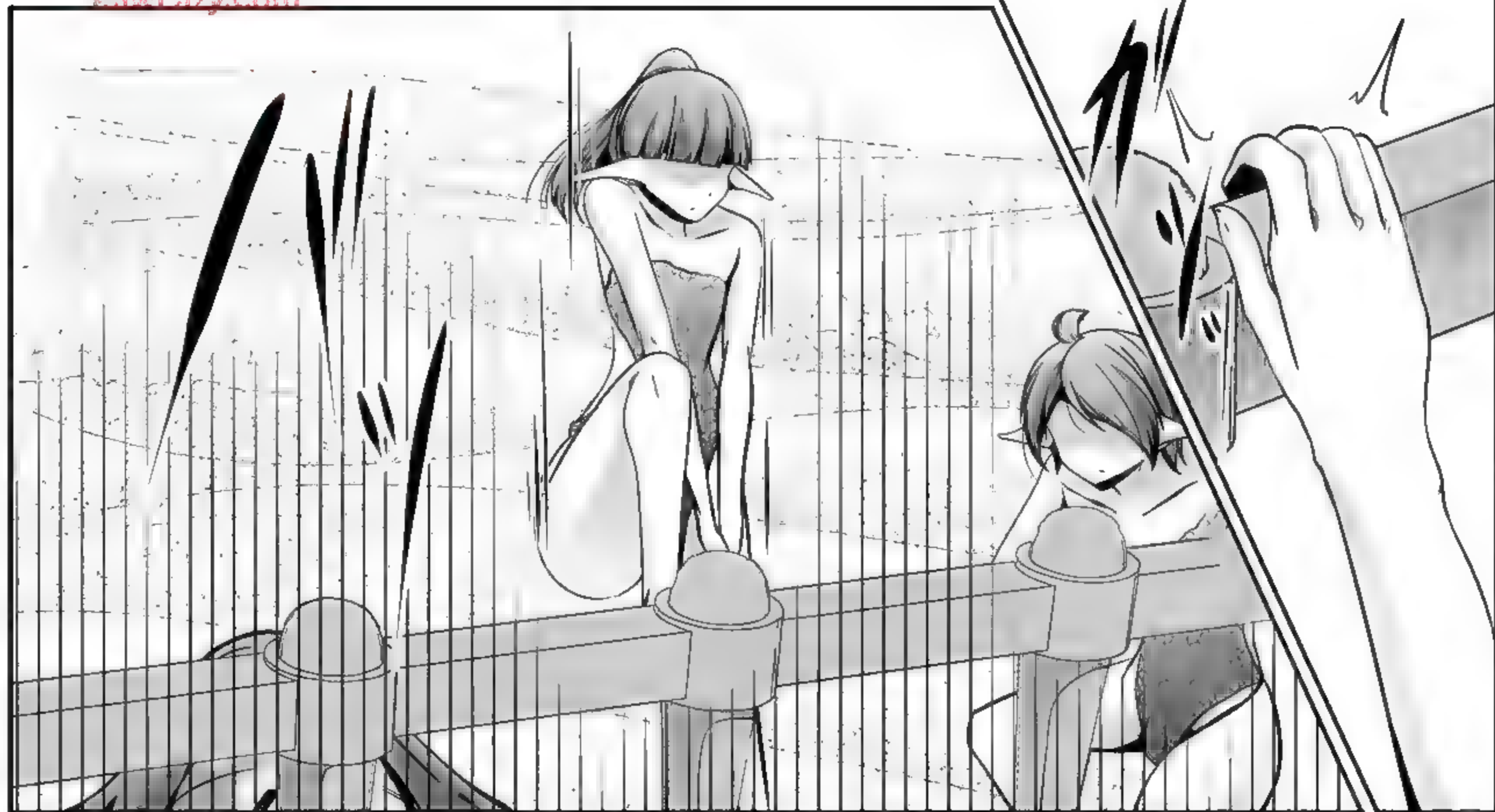
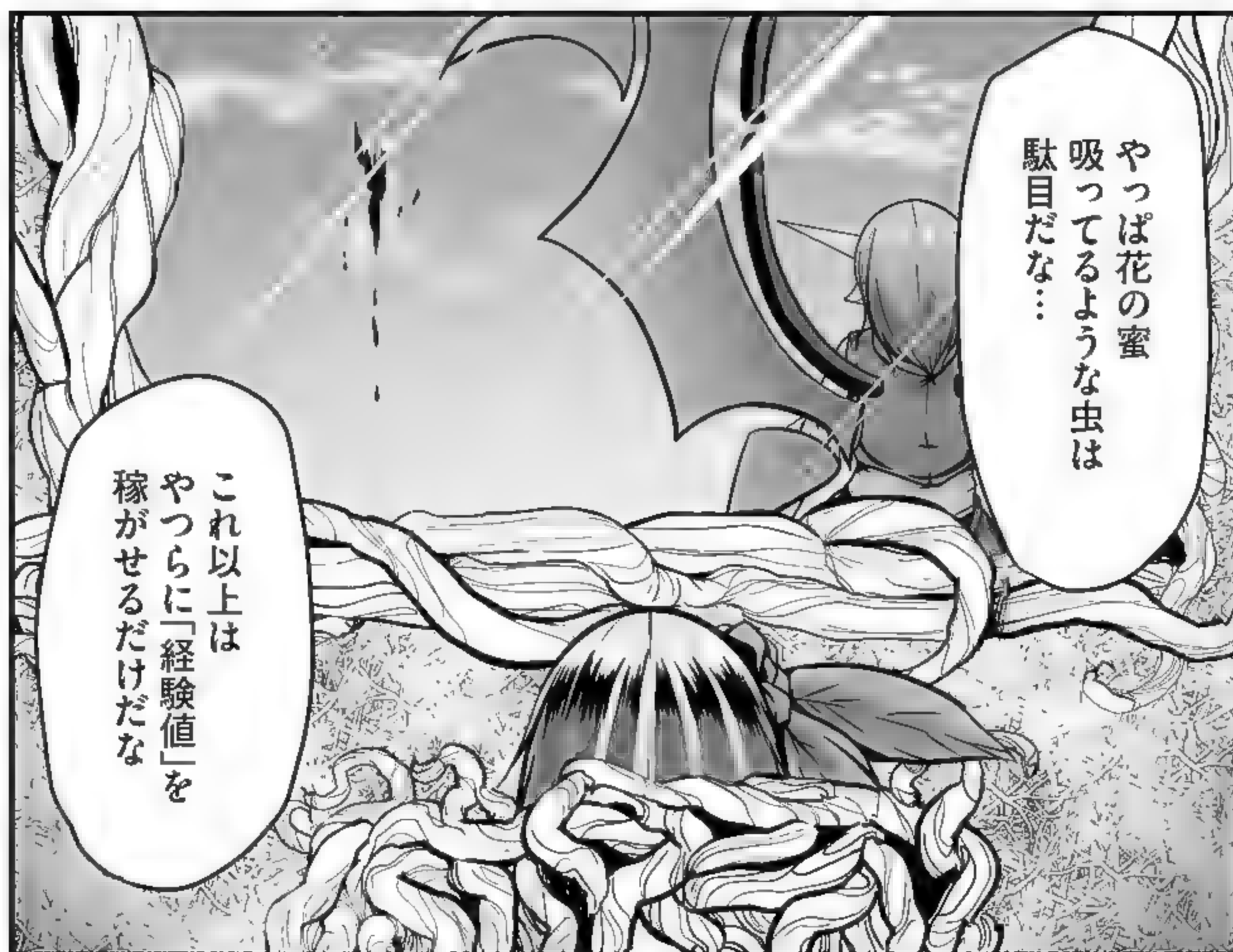
っ!?
ミティは…!?
ん…!

オオ…
ドウスル…
ニクダンセン…
眠れ！

…コイツら
操られていたようだけど
洗脳も解いてやれるのか？
わからん
今は様子を見よう
スー…
スー…
ビクッ
デカい…蛾か！
上…っ！
何か変な匂いがするぞ！
DL-Raw.Se

んんっ！
ゴホッ
ケホッ
うっ
これは鱗粉…!?
っ…！
毒か!?
ドラ子！やれ！
うんっ！
スゥッ…

おぉ…さすがはドラゴンハーフです！

もえました…！

全軍撤退！
拠点に戻れ！
モドル…
撤退…
帰還…
アァ—
みんな…!?
戻っていく…？
こちらを
誘いこむ罠かも
しれないぞ

戦力の小出しは悪手だと
気づいたんだろう
意外に敵も賢いな

それよりも…

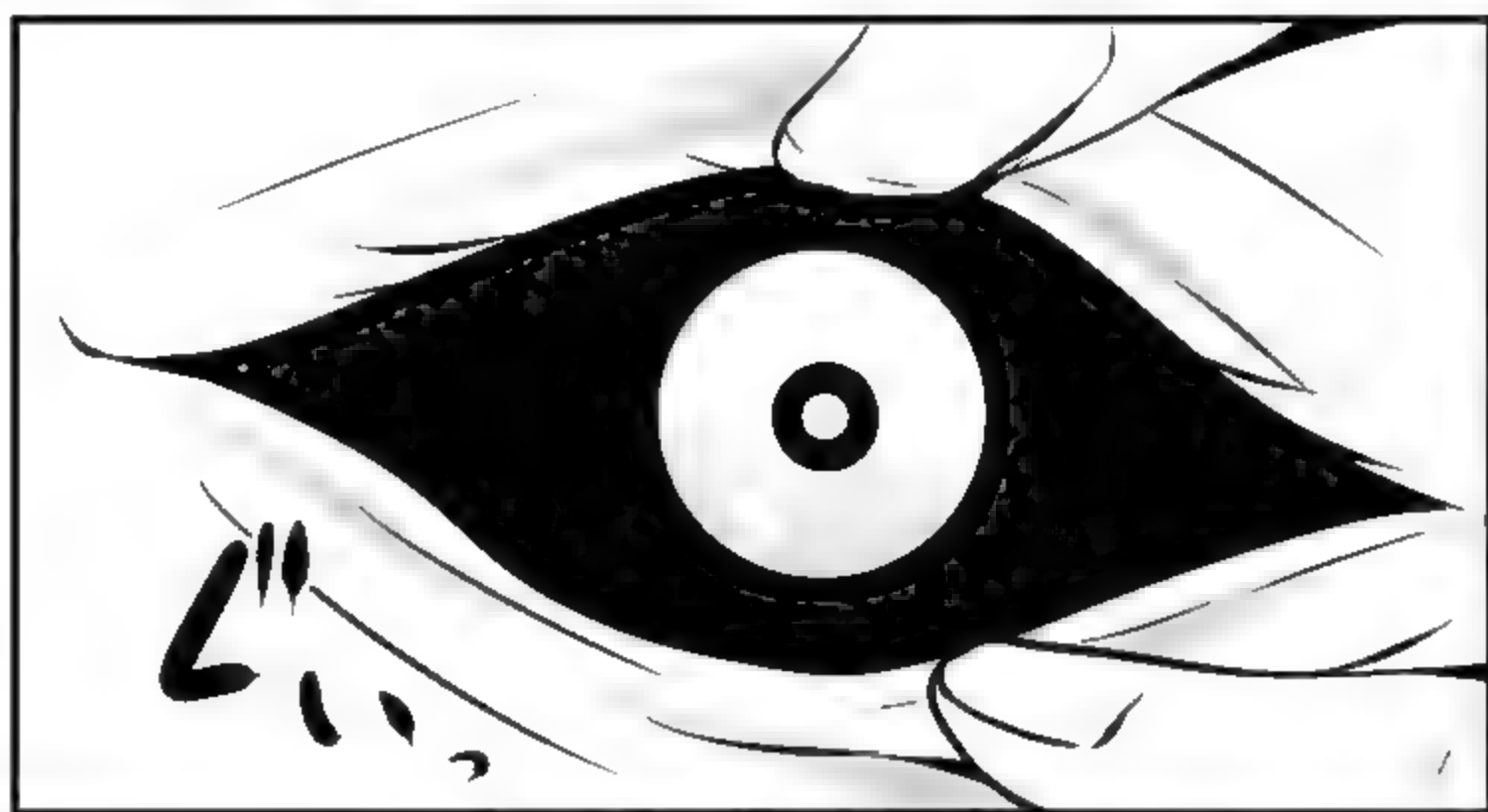
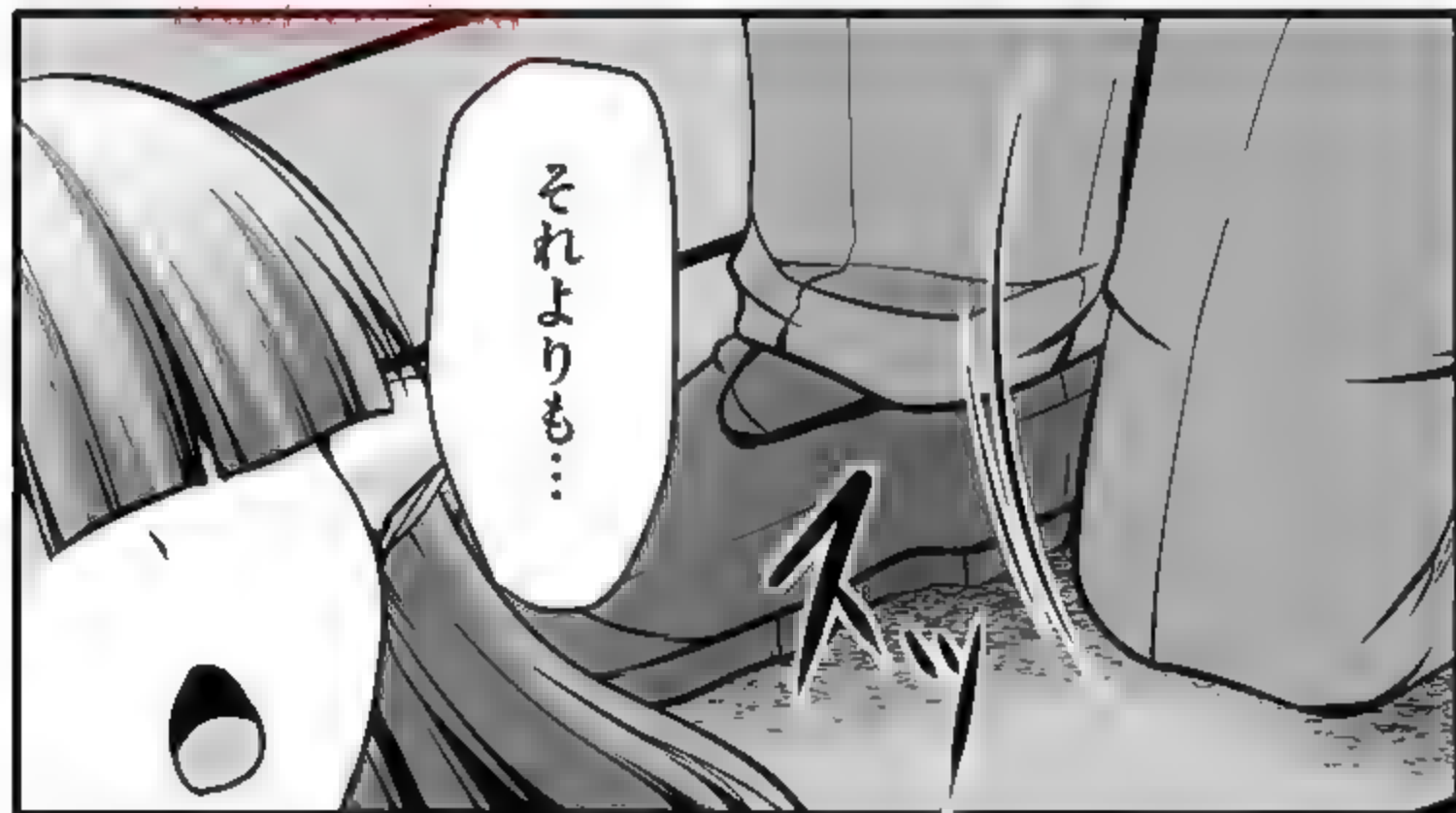
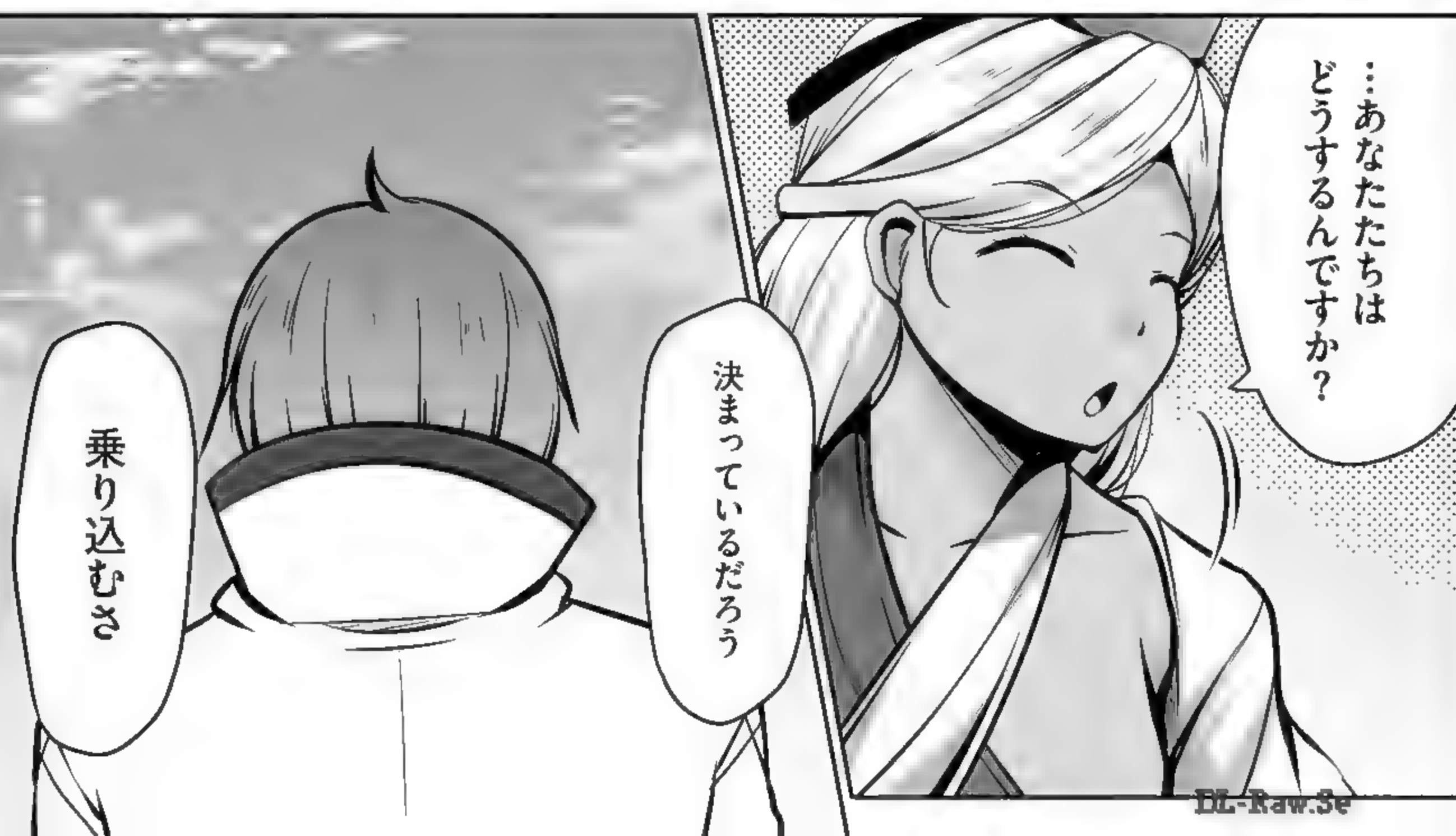
ぐいっ

…砂漠のエルフは
白目が黒いってことは
ないよな？
もちろんです
我々と同じですよ
敵に何かされた
証拠でしょう…

俺の支配能力で
洗脳は解けるか？
いや…
どういう仕組みで
操っているかが
解らないうちは
危険だな…
二重に支配
するような
ものだからな
本人の身体が心配だ

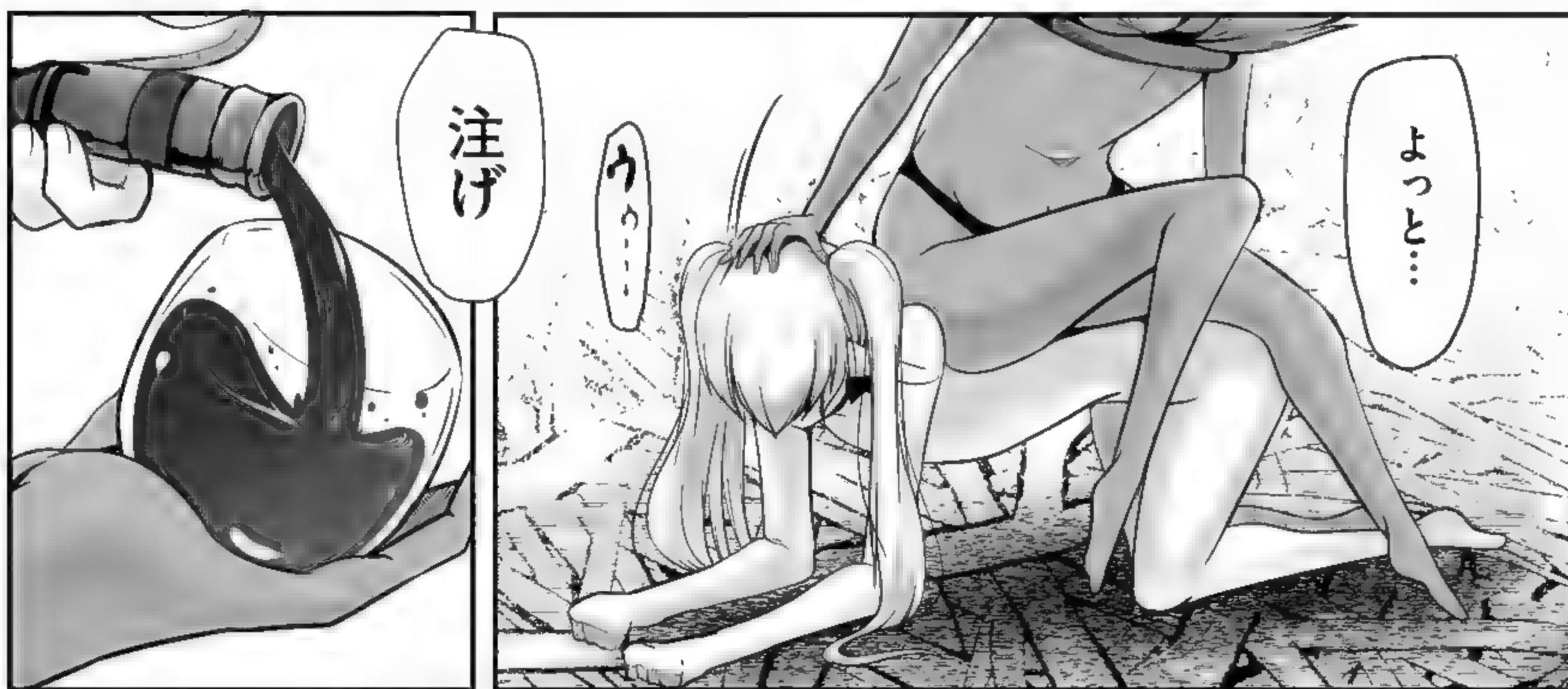
イシュタル いるか？
それとタイガ
はいっ
なんだ？
こいつらの介抱をしてやってくれ
できれば洗脳の方法も解明してくれると助かる
わかりましたやれるだけのことはしてみます
とりあえず下の船室に運ぶか
…あなたたちはどうするんですか？
決まっているだろう
乗り込むさ

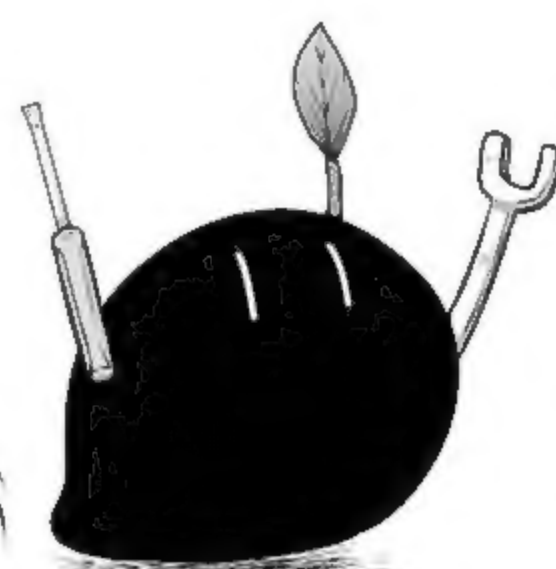
世界樹の中にな

エルリート
道案内は頼むぞ
はいっ！
猫兵たち
上陸用の小舟を
用意してくれ
ニャー！
空から見てみたけど
周辺にもう
敵はいないよ
わかった
よし
ひとりずつ
順番に降りるぞ

そう…難しいことは
「黒の書」で理解している

しかし
未来視の勇者たちはみなひとりだった
だけど俺は違う みんなで戦うんだ
きっと違う未来にしてみせる！

ククク…ッ
勝てるわけないんだよなぁ！

「支配」の勇者が負けるのは
もう決まっているんだぜぇ!?

私らが抱える
巫女の予知でな！
さぁ登ってきな！
「支配」の勇者!!
to be continued

3巻お買い上げ
ありがとうございます
作画担当の零覇です
ペコリ
今回も楽しんで読んで
もらえていたら嬉しいです
つい最近に
2巻が出たな・・・と
思っていたら
もう3巻が出たなって気がします
実際は1年近く
経過しているので
別に最近でもないのですが
楽しい時間は
あっという間ですね
漫画描くのは楽しいです
この調子でどれくらい
積み重ねられるか
楽しみ半分不安半分・・・
それはともかくとして
近況です
去年は換気扇が壊れました
F1みたいな音がします
うるさすぎて
つけられない
死にました
トイレの
ウォシュレットも
壊れました
尻が冷たいです
ついでに
胃が壊れました
意識がある状態の
胃カメラは
何かの拷問でした
胃だけは治りましたが
他は壊れたままなので
今年は全部直すのが目標です
見ていて下さい！
4巻のあとがきで
全て直した私の姿を！
なので次巻も
よろしくお願いします！
それでは！

あとがき

みなさまのおかげで、三巻に至りました。

二巻乙は回避して、三巻の壁に到達です。

次巻では、オラついてるドリアー子ちゃんに
『わからせ』をする予定です。

期待してお待ちください！！

kt60 (ケーティーロクジュウ)

RK COMICS　COMIC RAKUU

チートスキル『支配』を使って異世界ハーレム！3

作画 零覇（れいは）　原作 kt60（ケーティーロクジュウ）

発行日　2024年3月20日　初版第一刷発行

発行人　大島 雄司

発行所　株式会社ぶんか社
〒102-8405
東京都千代田区一番町29-6
TEL 03-3222-6516（編集部）
TEL 03-3222-5115（出版営業部）

印刷所　大日本印刷株式会社

ISBN978-4-8211-5805-8

ぶんか社 webcyberia.com